

# だいたいみんな躍ってる

大竹ココ・作

「だいたいみんな躍ってる2024」

クリスマスの足音が聞こえる十一月。舞台は雑居ビルに入っている事例制作会社のオフィス、の休憩スペース。終業後、結婚式を数日後に控えた上司・藤井ゆかりのために、女性社員三人（相原ほたる・川野樹里・小浜佳）が余興のダンス練習をしているところから物語は始まる。ゆかりと営業時代の元ペアであり、生け花という共通の趣味の持つ主人公・ほたるが、の挨拶を任されているのだが、中々上手くいかない。

そこへ、当の本人であるゆかりが現れたことにより、余興の練習は一時中断。結婚観や恋愛観など、集まった面々でガールズトークに花を咲かせていたのだが、途中、同僚の軽いノリで「ゆかりの婚約者と昔付き合っていた」ことを暴露してしまったほたるは、「余興を辞退する」と言い出してしまふ。

なんとか機嫌を取り戻してもらおうと、あの手この手を尽くすメンバーの説得虚しく、年齢不詳のチームリーダー（朝霞澄子）、会社に来ては煎餅ばかり食べている税理士（北園）、さらには結婚するゆかりまでも巻き込み、議論は激化してしまふ。

やがて、ほたるが余興を辞退する本当の理由は、自身の過去を暴露されたことではなく、ゆかりの婚約者が抱える「ある問題」を危険視したことによるものだ、ということが明かされ、ほたるは、婚約自体を破棄してほしいと、ゆかりに直談判をする。

終業時間とはつくに過ぎている。話題の終着点を探ろうとする登場人物たちの間で、互いの価値観のズレが浮き彫りになり、思いがけない秘密が次々と明かされ、状況は更に混沌を極めていく……。

「人はそれぞれの価値観を持っていて、それを他人がとやかく言う事はできない」——という現代社会の論理から導き出される「したがって人はあまり人に干渉すべきではないし、関わるべきではない」という冷たい論理を何らかの形で乗り越えようとする登場人物たちの姿を描く。アウトティングをテーマに、個々の価値観とその受容、他者との関わり方をめぐる、喧嘩あり、ダンスあり、生け花ありの、一幕ワンシチュエーション・バチクソ会話劇。

## 《登場人物》

相原ほたる 事例制作会社の社員。入社5年目。

川野樹里「じゅり」 ほたるの同僚。

小浜佳「けい」 ほたるの後輩。中途採用で3か月前に入社。

朝霞澄子 ほたるの上司。主任。一児の母。

藤井ゆかり ほたるの上司。もうすぐ結婚式。

北園 会社の顧問税理士。煎餅命。

## 《表記》

・ …間を取らない読点。

☆ …同じ数の☆印を同時に読む。

★ …前の台詞に食って入る。

／ …瞬時に調子、方向性が変わる。

（ ） …カッコ内の台詞は発話しない。

「 」 …読み仮名・読み方。

「間」と「一拍」は一拍の方が短い。

♪ …音響

⚙ …照明

## 《演出の前提》

- ・ 台本上の役者の入退場に関しては、演出の意図に則って変更しても良い。
- ・ 台本にない間を増やして良い。または減らしても良い。

## 0 開場

開演三十分前。

♪客入れ音楽 in

十一月。雑居ビルのオフィスに併設されているリフレッシュルームを想定。人が十人も入ればいっぱいになってしまいそうな広さ。普段はデスクや椅子が並べられ、社員が休憩や仕事ができるようになってきているのだろうが、今は脇にやられ、真ん中に人が動ける程度のスペースが空いており、青いスズランテープの塊が鎮座している。部屋の片隅には小さなサイドテーブルがあってティッシュや茶菓子が用意されている。

夕刻。壁に掛かった時計は六時半を指しており、客入れ中・開演中とリアルタイムで時計は進んでいく。

開演キュー。

♪客入れ音楽がMOに切り替わる。

☆客電 F.O

◀MO F.O

## 1

これは業務外！

☆照明変化 オフィスの明かり

時計は夜の七時を指している。

ほたる、電話をしながら入ってくる。

ほたる    もしもし？    うん、うん。    ——ええ、なんで？    ——うん、え、それはさ、もう前から決めてたことなんだから——、え・断れないの？    だって、——え、なに？    ——家族じゃないから？    ま、え、家族じゃないけど、確かに、私たち。じゃあなに？    家族いる人ならいいの・それ、え、違い分かんない、だってこっちはさ、ずっと前から決めてたじゃん、クリスマスは一緒に過ごすって。

樹里、入ってくる。

ほたる 二十五、二十六は会えるって言われても——、あの・そもそも言ってたのは二十四、二十五だね？——あれ？ って言ったよね？ お互い、認識——、うん、——いや、あの、仕事あるのは私も同じだから。仕事ある上で二十四、二十五会えるように私も調整してるの。なんで後から申請したその一矢口くん？ に、休みを譲らなきゃいけないの？——ってか違う。約束を、さ、した——。うん、うん／や、もういいや。——や、ていうか、会わない、ていうか会えない。——うん、とりあえず切る。

ほたる、電話を切る。

間

樹里 彼氏？

ほたる なんか二十四仕事抜けられないって。

樹里 クリスマス？

ほたる そう。

樹里 二十五は会えるんでしょ？

ほたる 二十四、二十五に会うって約束してたの。

樹里 同じでしょ。同じ二日間。

ほたる 同じだけ時間は。仕事がある日の二日間と、二人お休みの二日間、似て非なるもの。

樹里 会えないより良くない？

ほたる 会えないよりっていうか、

樹里 ★うんうん、分かるけどね。

ほたる ★分かるのよ？ 私も。仕事あるのも分かる。頼まれた仕事断りにくいのも分かる。同じ二日間。会おうと思えば会える。——でも約束は守ろうよ？ 約束して、そのためにこっちも動いてるのに、ごめんごめん済ませると思ってるのがあり得ない。ごめん済めば警察はいらないじゃん。サンタさんも二十四の夜に来てくれるから嬉しいわけ。全然違う日に枕元にプレゼントあったら、え、なに？ 誰？ こわいって思うでしょ？ あわてんぼうのサンタクロースどころじゃないからね。警察沙汰だからね。

一拍

樹里 うちサンタさん来ない家庭だったから。

ほたる 例えよ。

樹里 (可愛く) こだわりがすごい。

ほたる こだわりじゃない。これは人と人の約束。

樹里　——生きるの大変じゃない？  
ほたる　生命の危機を感じたことはいけど。  
樹里　——（呆れつつ頷きながら）クリスマスカー。今年忙しいんだよねー。  
ほたる　——会うの？  
樹里　うん。  
ほたる　どれと？  
樹里　全員。  
ほたる　まじで？  
樹里　ちゃんと私は約束守るよ。朝昼晩一人ずつ。  
ほたる　解せぬ。え、それはさ、どこでカウントするの？　ご飯食べるタイミング？　だって、そしたら朝の人は何時から会うの？　夜の人圧倒的に有利じゃない？　え、公平じゃくない（など）？

### ♪★アラームの音

佳、入ってくる。

佳　はーい、休憩終了です。

樹里　早くない？

佳　5分経ちました。

樹里　スパルター。

ほたる　もう振り忘れてそう。

佳　忘れる前にやりますよ！

樹里　はいー。

佳　じゃあ、とりあえずさっきやったラストスリーエイトくらいから、ほたるさんの挨拶まで。

ほたる　そんなところから？

佳　挨拶大事ですから。パフォーマンスの一部ですから。（手を叩き）はーい、いきますよ！  
ごーろくしちはち！

佳がカウントを取り、音なしでほたる、樹里、佳三人が踊る。

最後のポーズをとって、

三人　そいやー！

佳　はい、ほたるさんラスト！

ほたる　あ、え、あ、えー、ゆかりさん、そして新郎の山本さん、ご結婚おめでとうございます！　し、幸せに、なってください！

樹里　なってくださいーい！

佳 ストープ！

一拍

佳 全っ然、ダメ！ 心こもってないです。

ほたる ころろ？

佳 (想像させる) いいですか。私たちの気迫に押される会場。音が終わり包まれる静寂。あまりの感動に言葉が出ない新郎新婦。イマジナルザピーパー・セイ！

ほたる (心を整えてみる) ご結婚おめでとうございます！ 幸せになってください！

樹里 なってくださいーい！

佳 樹里さん語尾を伸ばさない！ し、やっぱりほたるさん心こもってない。

ほたる ころろよりダンスもっとやらない？ ちょっと、全然ついていけなかった。

樹里 こういうのはほら、本番で感極まって感動的な感じになるやつじゃん？

佳 そうかもしれないですけど。

樹里 ほたるこういうの向いてないから。ね。恥ずかしいんだよ、ね？

ほたる や、恥ずかしいっていうか。

佳 あと三日ですよ、式。ほたるさん、ゆかりんさんの元ペアだし、山本さんとも取引先で面識あるし、ラスト任せられるのはほたるさんしかないんですから。

ほたる わかってるって。

樹里 逆に逆に？ あ、素直になれないのに頑張ってるわあ、っていう演出もあるよね。

佳 ——えー(ある?)？

樹里 佳ちゃんやってみてよ。

ほたる みたいみたい。

ほたる、樹里、佳を促す。

佳 (心を整えて誠心誠意) ゆかりさん、山本さん、ご結婚おめでとうございます。幸せになってください。

一拍

ほたる、樹里拍手。

樹里 佳ちゃんがやれば？

佳 ダメです。これはほたるさんが適任なんですから。頼みますよ。

ほたる 頼まれちゃうとなあ。

佳　じゃあ曲入れてやってみましょ。  
ほたる　ほい。

佳、音楽を流そうとする。

樹里　の前にちよつといい？

佳　——はい？

樹里　——ノリ、合ってるかな？

佳　え？

樹里　や、佳ちゃんが率先して余興進めてくれてるのは、大変ありがたいんだ、ほんとに。あ  
りがとう。

佳　ああ、いえいえ。

樹里　まだ会社入って、えー、

ほたる　三か月。

樹里　★三か月、で、こんな打ち解けて、クライアントからの評判も良いし、すごい人材だと思ってる、し・頼りにしてるんだけど。

間

樹里　上司の結婚式に一世風靡セピアって、ノリ合ってるかな？

一拍

ほたる　一応、社外の人も来るしね。

樹里　社外もだし、まずフォーマルな場だし。

佳　樹里さんフォーマルとか気にするんですね。

樹里　（言いたいことあるけど）あ、気にするよ？

ほたる　歌詞も、（一世風靡セピア「前略、道の上より」より、一番Aメロ一フレーズ目を発話）って、——（動作を交え）散っちゃってるけど大丈夫かな？

樹里　（動作を交えながら、一世風靡セピア「前略、道の上より」より、一番Aメロ二フレーズ目を発話）って、なんか、——死んじゃってるけど大丈夫かな？

一拍

佳　大丈夫ですよ。私親戚の結婚式行ったとき、新郎の友達がパンツに天狗のお面入れて踊ってましたし。ブリーフの穴から鼻出して。



ほたる え、それ大丈夫なの？

佳 お面借りた神社からはめちゃうちゃ怒られたらしいですけど。

樹里 神社のものなの？

佳 でもカッコ良くて、新体操部仲間だったらしいんですけど、動きそろってるし、熱量すごいし、股間の天狗の鼻もかっこよく見えてきて、陰しい顔してる人たちはいましたけど、楽しんでる人もいたし、なにより新郎新婦が嬉しそうで、

樹里 悪ノリじゃん。

佳 友情ですよ。青春。赤い天狗、白いブリーフ、ラブソースウィート。

ほたる 楽曲風？

佳 私も小学生ながらにいつかこんな余興するぞと決意して幾数年。

樹里 山本さん側の仲間たちがやるんだったらまだ分かるけど。

佳 これは、ゆかりさんを女泣きさせる大チャンスなんですから。

樹里 ——まああの人そういう感じじゃないしね。

佳 はい、もう一回行きますよ。

ほたる ——ゆかりさん、山本さん、ご結婚、

佳 ★ダンスから！ ——ダンスから。

ほたる はい。

佳 いきます、ごーろくしちはち、

ゆかり、入ってくる。

ゆかり

★お疲れ様ー。

ほたる、樹里、佳、踊ろうとしていた形跡を残さないようにごまかしながら口々に、

佳 いえーおつかれ様でいす！

樹里 りあーおゆかりんさん！

ほたる はあーはあー、っす！ おっす！

間

ゆかり どうした？

樹里 いやいやいや何でも。

佳 お疲れ様です。

樹里 すいません・ちょっと、ふざけちゃってて・なんか、ね。

佳 ゆかりんさんかあ。朝霞さんかと思ったー。

ゆかり　（青いスズランテープを見て）勝手に資材使ったら怒られるよ？  
佳　　すいませーん。

ほたる　まだ残ってたんですか？　ゆかりさん。

ゆかり　うん、さっき帰ってきた。

樹里　直帰かと思ってました。

ゆかり　なんか大変なんでしょ？　肉屋の。

佳　　あー。

ほたる　ミートハウスとみた、の。

ゆかり　事例作成？

樹里　でーすーね。

ゆかり　ああー。はいこれ。

ゆかり差し入れを渡す。飲み物？

樹里　え、ありがとうございます。

佳　　すいませんなんか。

ゆかり　ミートハウスか。

ほたる　ですね。

ゆかり　手伝おうか？

ほたる　いやいやいや。

樹里　大丈夫です！　こっちで何とかできますから。

佳、うんうん頷く。

ゆかり　気難しくない？　富田さん。

樹里　任せてください！　ね、リーダー。

ほたる　はいほんと、手玉に取ってるんで。ゆかりさんみたく。

ゆかり　（笑）。そっかそっか。

佳　　色々、教えてもらってます、ほたるさんに。

ゆかり　——ほたるがチームリーダーかあ。信じらんないね。

ほたる　ゆかりさんが振ったんじゃないですか。私は無理だって言ったのに。

樹里　こんなこと言ってますけど、めっちゃ気合入ってますからね、こいつ。

ほたる　そりゃあへまできないからね。

樹里　喜んでましたよー。決まった時。

ゆかり　素直じゃないねー。おーしおしおしおし。

と言いながら、ゆかりがほたるの頭をわしやわしやする。二人のお決まりのノリがあるのだろうか、テンポの良いやり取りが続く。

ゆかりとほたる、爆笑。

ゆかり あー、これでほたる上手くやってくれたら、私思い残すことないかも。

佳 ちょっと、やめるみたいな言い方しないでくださいよ。

ゆかり だって、ほんとに苦労したんだから、最初。

樹里 ザ、無愛想でしたからね。ほたる。

佳 そうなんですか？ 想像できない。

ゆかり ほんとほんと、ね、国母事件。

佳 国母？ え、スノボの？

ゆかり ペア組んでたとき、クライアントブチ切れちゃった時あって、2人で謝りに行ったのよ。

佳 何やらかしたんですか。

ほたる あれは、私が相手方の意向に沿えなかったのが原因なので。

ゆかり でも私も担当してたからさ。直接やりあったのはこの子だけ。

ほたる だけどあれは納得できないですよ。途中までいいねいいねーとか言ってたクセに、最終出した途端、契約切るとか言い出して。

佳 えー。

ゆかり でもそんなこと言われちゃったら仕方ないじゃない？ で・菓子折り持って謝りに行ったんだけど、——も、全っ然反省してなくて。国母状態。

佳 反省してまーす？

ゆかり 申し訳ありませんでした（棒読み）。

樹里 うわー。

佳 ほたるさんが？

ほたる も、いいじゃないですかその話は。

ゆかり 相手のボルテージ爆上がっちゃって、菓子折りすら渡せず追い出されて。

佳 あらら。

ゆかり で・帰り道大泣き。私怒らなきゃいけないなと思ったんだけど、も、泣きながらすごいこと言ってて、この人。

ほたる ちょっと。

ゆかり （泣き真似しながら）私はー。

ほたる ☆やだ。

佳 ☆何て言ったんですか？

樹里 ☆これすごいよ。

ゆかり 不器用なのがー、私の良いところなんですよー。

佳 ええー？

ほたる もーう。

ゆかり いや、お前が言うー？ みたいな。この状況で、私が言うなら分かるけど、お前言うー？

樹里 (笑)。

ゆかり 思わず言っちゃたよね、お前すげえなあ！ って。

佳 大物の予感。

ほたる はい、終わり！ 終わり終わりー！

ゆかり (笑)。道の真ん中で大号泣と大爆笑。

佳 やべえ奴ら。

ほたる でも実際やべえのは・あのオヤジでしたよね。

ゆかり まあ確かに、やべえ奴ではあった。

北園、入ってくる。

北園 失礼しまーす。

ほたる、樹里、佳、各々に「お疲れ様です」など。

ゆかり ぞのちゃん。

北園 あれー？ なにしてるの？

ゆかり なにも。

北園 いいの？ 帰らなくて。

樹里 そうですよ、今週末ですよね、式。

佳 準備とか、大丈夫ですか？

樹里 エステとか。

佳 エステ！ エステ行かないんですか・エステ。

ほたる 花嫁エステ。

ゆかり すごいエステ行かせようとするじゃん。——え？ (顔を気にする)

樹里 綺麗綺麗、綺麗ですよ！

ゆかり ぶっちゃけ直前なんてすることないし。

佳 (北園に) あ、すいません、初めまして？ ですよ？

ほたる あ、そっか。

佳 中途で入った小浜です。

北園 ああ、はいはい。あ、税理士の北園です。

ゆかり　大体、月末の終業後とかに来てくれて。

北園　今月やることいっぱいだから。

ゆかり　年末調整？

北園　帰ったーい。

ゆかり　ねえ私どうしたらいいの？

北園　まだ入籍してないんでしょ？

ゆかり　うん、式と同じ日にしようと思って。

北園　ふーん、いい夫婦の日とかじゃないんだ？

ゆかり　企業戦略だからそれ。

北園　そうなの？

ゆかり　記念日マーケティング。

北園　——じゃあ大安もマーケティングだったの？

ゆかり　絶対そう。

北園　てっきり暦だと思ってた。

ほたる　暦ですよ？

北園　こわいわー。あ、これどうぞ。

北園、樹里に手土産の煎餅を渡す。

樹里　いつもすみません。

ゆかり　ありがとう。お煎餅？

北園　そ、いつもの。

樹里　やったー。召し上がります？

ゆかり　みんなで食べなー。

樹里　じゃあ夜食に。

北園　そんなに残るの？　大変ー。あ、あとこれね。

北園、もう一つの紙袋から花を出す。

ほたる　ポインセチア？

北園　駅前で見つけて。綺麗じゃない？

ほたる　いい色。知ってます？　花の部分ここ（真ん中の蕾みたいなところ）なんですよポイン

セチア。

北園　そうなの？　ちっちゃー！

ゆかり　もうクリスマス？

佳　ハロウィン終わったら、すぐ街クリスマス仕様ですからね。

樹里 夏終わったらすぐハロウィンだったしね。  
ゆかり こわー。

北園 立ててよ、ほたるちゃん。

ほたる —私が？

ゆかり 面白そう。生けてよ。

佳 ふー、華道家あ。

ほたる いや華道家とか、本物居る前でやめてよ。

佳 でももう何年かやってるんですよね？ 華道。

ほたる やってるけど。ゆかりさん生けた方が良くないですか？

ゆかり (可愛く) 金取るよ？

北園 ほたるちゃん。

ほたる —他の花も使っているんですか？

北園 うん。適当に買ってみた。

ほたる、なにか花瓶などないか探す。

樹里 みてこようか？ 何かないか。

ほたる ありがとう。☆あ、水もお願い。

樹里 オッケー。

樹里、出ていく。

北園 ☆こないだの展示すごい良かったよ、2人とも。

ゆかり 見に来てくれたの？

北園 私も勉強しようと思って。

ゆかり えーい。

北園 私始めたばかりだからよく分かんないけどさ、植物の生命力って言うの？ 自然の  
ままでも勿論綺麗だけど、人が手を加えることでこんなに美しさが際立つんだなって思って  
感動しちゃった。表現力がすごい。ほたるちゃんのは、ほたるちゃんらしかったね。こう、び  
しっと。

ほたる あー。

北園 ストイックさを感じた。

ゆかり 基本的に忠実に立てられるのは何気にすごいことだから。

北園 ゆかりちゃんはやっぱりさすがだったね。おお広がるーと思ったら、ちゃんと要所・要  
所きっちり収まってて。

ゆかり またまたお上手を。(といいながらガッツポーズ) 分かってるね・そのちゃん。

ほたる なああ、そうなんですよねえ。私のなんか足りないんですよね。

北園 いや、良かったのよ。ほたるちゃんのもの。

ほたる 見えてるものが違うんですよね、たぶんゆかりさん。

ゆかり 経験・経験。

北園 ——最近二人に会えなくて寂しいんだけど。

ほたる あー・時間合わないから。誘っておいてすみません。

北園 忙しいもんね。

佳へえー、私もやってみようかな、華道？

一拍

北園 やろうよ。仲間欲しい。

ゆかり やろうやろう。

ほたる 明生流「みょうしょうりゅう」入って。

佳でも二人とも恐そうだなあ。花になると。

ほたる 失礼な。

ゆかり そんなことないよ？ ね？

ほたる うん、手取り足取り教えるから。

佳 ほらあ。

樹里、花が差せそうなものを持って戻ってくる。

樹里 こんにちはのあったけど。

ほたる お、いいねー。

ほたる、器を受け取り準備を始める。

ゆかり 丁度良いのあったねえ。

樹里 給湯室のお皿？ 持ってきてくれました。

北園 剣山は？

樹里 あー、前エントランスで使ってたやつ。あのゆかりんさんの。

北園 あーねー。

ゆかり まだあったんだ。

ほたる、カバンから鋏を取り出し花を生け始める。

佳 ほたるさん？！

ほたる ん？

佳 鉄持ち歩いてるんですか？

ほたる うん。

佳 やばい人じゃないですか。

ほたる、花を見極めて、

ほたる んー。

佳 職人の目。

ほたる いや、比率が大事なのよ。1… $\sqrt{2}$ の比率。

佳 ルート2？ 黄金比率的な？

ほたる 白銀比。

佳 はく？

ほたる 黄金比は五角形の一边と対角線でしょ？ 白銀比は正方形の一边と対角線1.414。

佳 私無理だ。

樹里 ☆こだわりがね。

ほたる こだわりじゃないから。こうなの。花が一番綺麗に見える比率を図形を使って理論づけたのが明生流なの。

佳 樹里さん助けてください。

ほたる 枝一本にしたって、こつちを面にするのか、こつちにするのかで全然違うんだから。  
(やって見せ)ほら。面が命。面で奥行きを見せる感じ？ フラワーアレンジメントと違うのはここなんだけど

樹里 ★も、生けて。楽しみ！

ゆかり ☆あ、そのちゃん

北園 なに？

ゆかり こないだ総目と話してさ、

北園 え、どうだった？

ゆかり 結構揉めたんだけど、許してもらえた。

北園 えー、良かったじゃん！

ゆかり 式場に花生してくれるって。

北園 嘘・まじで？

ゆかり うん。相談してたからご報告。

北園 あらそう、ちょっと心配してたから。良かったね。

ゆかり ふふー。



北園 いいなー、ちょっとー、ラブラブじゃんかよ。  
ゆかり ま、ま、ま。

北園 もう一緒に住んでるんでしょ？

ゆかり うん。なんだけど家に入れてもらえなくて。

北園 家に？ 部屋にじゃなくて？

ゆかり 今創作中でさ。人がいると集中できないんだって。

北園 そうなの？ え、無理してない？

ゆかり 全然。そういう人だし。感受性が豊かって言うのかな？ 普段はめそめそめそしてるのにさ

北園 あー、可愛いんでしょ？

ゆかり 思っちゃうよねー。よしよしって。

北園 はい惚気ー。

佳 ゆかりさんの旦那さんになる人、どんな人なんですか？

北園 イケメンよ。ね。

ゆかり 別にイケメンって程じゃないけど。

佳 みたーい。

樹里 週末見えるじゃん。

佳 芸能人にたとえると？

ゆかり えー？

北園 野村萬斎！

ほたる、ちょっと吹き出してしまう。

佳 野村萬斎？

ゆかり そう？

北園 似てるよね？

ほたる 確かに、野村萬斎もうちょっとすっきりさせた感じ？

ゆかり 私ずっとダイゴに似てると思ってた。

樹里 どの？

ゆかり メンタリスト。

北園 えー、いや、もうちょっとスツとしてるよ？ ☆☆鼻のあたりとか。

佳 でも大体系統は読めました。

朝霞、電話をしながら入ってくる。

朝霞 ☆☆じゃあママもうちょっとかかるから。――そうだね・ごめんね、もうちょっと待つ

てて？ うん、ごめんね、うん、お風呂入っというてね、はい、はい。

みんなそれぞれ「お疲れ様です」など

朝霞 ゆかりちゃん戻ってたの？

ゆかり 様子見に？

朝霞 早く帰れるなら帰った方がいいよ？

北園 家入れないんだって。

朝霞 え？

ゆかり いや、私が自主的にそうしてるみたいな。

朝霞 ——喧嘩？

北園 (険しい顔で) 大丈夫。ラブラブみたい。

朝霞 ならいいけど。——三人まだ残ってるの？

樹里 ああ、まあ、はい。

朝霞 私たちここ使うんだけど。

佳 私たちも。

朝霞 こっち業務だから。

樹里 (余興の練習とは言えない) 私たちも、業務、です。

朝霞 (ほたるを見て) 業務、なの？ オフィス使えば？

佳 業務(踊るんです)。

朝霞 ——(なるほどね) あ・そう。

北園 ぱつとやっちゃおう。

朝霞 そうね。

朝霞、北園、書類やパソコンを出して準備する。

樹里 結婚かー。やっぱり良いですか？ 結婚。

ゆかり えー、まあ、いいものではあるよ？ 気持ち的にも支えになるし。

樹里 支えかー。

ゆかり 帰ったら家に誰かいるっていいものよ？

佳 でもそれ、同棲でもいいのでは、って思っちゃいますね。

樹里 (佳に) ちゃんと。(ゆかりに) すいません。

ゆかり それぞれ考えがあっていいんじゃない？

佳 どうですか？ 朝霞さん。

一拍

朝霞 え、私？

佳 先輩じゃないですか。結婚の。

朝霞 —— 良いんじゃない？

佳 どう？

朝霞 だから、家に誰かいることの安心感とか。

佳 —— あれ、私寝てました？

樹里 朝霞さんはお子さんいるんですもんね。

佳 おいくつなんですか？

朝霞 小四、くらい？

佳 なんてそこふっと。

朝霞 歳バレんじゃない。

佳 分かんないですよ。あ、小四かー。大変な時期ですね。

樹里 でも旦那さんが結構送り迎えとかしてくれるんですよ。

佳 イクメン。

朝霞 平日はね。ま、飲食関係だからさ、うちのは。そうそう、まあだから、うちは子供いるし、結婚しててよかったなってことは、もちろんあるよ。

佳 子供産むから結婚ってことですか？

樹里 佳ちゃん。

朝霞 そういうことじゃないけど。結果。別に子供産むために結婚があるわけじゃないと思うし。何のために結婚するか、みたいなのところになってくるんじゃない？

北園 小浜ちゃん結婚したくないの？

佳 私、コスパ婚したいです。

北園 コスパ婚？

佳 恋愛抜きで。結婚はしたいけど、出会って、何回か会って、付き合ってみて、結局ダメだったってコスパ悪くないですか？

樹里 それが楽しいんじゃないの？

佳 楽しめるほど余裕ないですから、私。恋愛の事人から色々聞かれるの面倒くさいし。むしろ、早く結婚して解放されたいというか。そういう理由でいいから利害の一致で？ 結婚して、制度も利用できてって方がコスパ良くないですか？

樹里 —— 佳ちゃん。

佳 はい。

樹里 状況。

佳 —— わ、すみません、ゆかりんさんの前で。私はって話で。

ゆかり はあー、面白いね。

北園 時代なのかな？

佳 樹里さんどうなんですか？ 歯医者さんの彼とは。

北園 え、なに？ 歯医者？

佳 歯医者さんの彼。

北園 えろーい。

一拍

樹里 あー。

朝霞 フットサル好きの？

ゆかり え？ 教員じゃなかったけ？ 小学校の。

佳 違いますよ、美容歯科の院長先生だって聞きましたよ。

北園 えろーい。

朝霞 フットサルはーＴ企業とか言ってなかった？

佳・ゆかり ——あれ？

樹里 あー、それぞれですね。それぞれ別の人。

佳 別れちゃったんですか？

ゆかり 忙しいね。

樹里 いや、続いていますよ？ 現在進行形で。

佳 ええ？ 三股？

北園 うっそ！

樹里 違いますよ。付き合っていないですから。私彼氏いないんで。

佳 ——セフレ？

朝霞 あ、お。

樹里 デーティング期間なの。

佳 はい？

樹里 デーティング。正式な恋人としてふさわしいか見極める期間なの。

佳 同時に？

樹里 同時にだよ。それこそ時間もつたいないじゃん。

佳 TSふんわりお姉さんだ！

樹里 なに、TS？

朝霞 なんか、聞いちゃいけない話？

ゆかり TSって？

佳 ——貞操。そのまま貞操の観念が低いって言ったら、ちょっと卑猥じゃないですか。

樹里 別に私貞操ふんわりじゃないから。

北園 ちょっとー、TSふんわりお姉さんなの？

樹里 違いますよ！ ま、そういう時代もありましたけど。

北園 あったの？

佳 やだー。

北園 聞かせて・聞かせて。

樹里 — 趣味だったんです。

朝霞 え？

樹里 男は趣味。

朝霞 女は海みたい。

北園 男はー趣味ー。

樹里 ま、恋愛とは別で、アクティブな趣味。男世界一周旅行みたいな。

北園 したの？ 男と世界一周旅行。

樹里 男で、世界一周旅行。

北園 — 男、で？

樹里 20 か国くらいで先が長すぎて諦めちゃいましたけど。

朝霞 アクティブだ。

樹里 過去の話ですよ。今はもう真面目ですから。真面目に恋愛。

佳 いやいやいやいや。

ゆかり 本質変わってくない？

樹里 え？

ゆかり 結局、同時進行でそのー（体の）関係？ あるってこと？

樹里 いやいやいや、全然違いますよ？ ま、確かにあるけど（体の）関係、でもそれは、

ゆかり ★ほらー！

佳 同じじゃないですか。

樹里 違う違う。違うんだって。まず前提が違くて、遊んでるんじゃないくて、彼氏を見つけてるの、彼氏が欲しいから、今。

佳 いやいやいやいやいや。

ゆかり ☆まあ、色んな考えがあって良いんじゃない？

北園 ☆なんか、ついていくの精一杯。

朝霞 うん。

北園、ほたるの花を見て、

佳 あ、すごい。

各々「おー」「きれいー」など。

樹里 今彼氏いるのはほたるだけなんで。

北園 そうなの？

ほたる え、まあ。

朝霞 一人と？

ほたる 一人と。

樹里 さっきも電話しましたよ。

ゆかり なんだそうだったの？

北園 え、どんな人どんな人？

ほたる や・別に、普通に普通の、一般男性。

北園 詳しく。普通に普通の一般男性。

ほたる いやいや、私の話なんて何も面白くないですよ。

ゆかり よかったー。あ、よかったじゃなくて、よかったけど、まあ、そうだよ、普通に普通の、そっかー。

樹里 そうそう、だからゆかりさん、安心して結ばれちゃってください。

ゆかり ちょ、いや安心っていうか、うん・安心はしてるけど。

佳 何の話ですか？

樹里 今の彼氏とよろしくやっていますよ。クリスマス会うれしいし。

ゆかり そっかそっか。

ほたる まだ分かんないですけどね。

佳 え、なんですか？ この感じ。気になるんですけど。

ゆかり あー・まあねー。

樹里 実は、ほたるの元カレ、山本さんのの。

## 一拍

北園 え。

佳 山本さんって、ゆかりさんの、ですよ。

ゆかり そうそう。

北園・佳 えー！

ほたる もう終わってますよ？ 完全に。

北園 酒もってこーい！

朝霞 ぞのちゃん。

佳 うっそお。

北園 持ってんじゃん、すごい話。

ほたる そんな人に言うようなことじゃないし。

北園 なにがあったの？ え？

朝霞 ぞのちゃんそろそろ。

樹里 もともと取引先で山本さんとやり取りしてたのがほたるで。  
ゆかり そもそもほたる伝いで出会ってるから山本とは。

佳 （ほたるさんの）元カレって言うのは？

樹里 ほら、あの、生け花？ やってるじゃん？ ほたる。

ゆかり 私が誘ったの。

佳 ああー、なんかすごい人なんですよね、ゆかりんさん。

北園 准総国会頭（じゅんそうこっかいとう）。

佳 え？

北園 准総国会頭。

佳 ————すごい。

ゆかり まあまあ。で、山本さんもお花やって、それでほたるが先に仲良くなって付き合っ  
て、流れて紹介されてみたいな。

ほたる ゆかりさんと話合うんじゃないかと思って。結果良かったですよ。

佳 え、え、え、聞いていいですか？ なんで別れたんですか？

北園 ナイス！

樹里 私もそれ知らない。

ほたる 別れた理由？ えー。

ゆかり お酒がすごくてね。

北園 ☆お酒？

ほたる ☆あ、え、言っているんですか。

ゆかり 大変だったよね、ほたるも。相談されたりしたりしてお互い。も、結構飲む人で。  
一同 あー。

ほたる 私が許容できなかっただけの話なのでそれは。

北園 はあはあはあ。聞くよね、芸術家気質でお酒のみっていう。かっこいいじゃん。

ゆかり そんないいもんじゃないけどね。

佳 え、ゆかりんさん大丈夫なんですか？

ゆかり まあ、そこも含め（好きなの）。

北園 おーいー！

佳 いいなあいいなあ！

ゆかり あ、でも良かった。ずっと言わないのもどうかと思ってたから。

樹里 披露宴でも聞かれるかもしれないですしね、二人の馴れ初めみたいな。

佳 そこはみんなうやむやにしますよ。合コンを友人の紹介って言ったり。

樹里 実際紹介だし。

ゆかり でもそっか、彼氏できたか。そっかそっか。

朝霞 はいほら、業務戻って。そんなに遅くまでいられないんだから。

樹里 はーい。

余興チーム、経理チーム、それぞれエリアに分かれる  
ゆかり、自分の携帯を見る。

北園　へええ、すごいこと聞いちゃった。こういうの新鮮だなあ。個人プレイだからさ、税理士。

朝霞　続きやるよ。

ゆかり　あー、そしたら私失礼します。

樹里　あれ？ 帰るんですか？

ゆかり　なんか材料足りなくなったから買ってきてって。お花の。

樹里　野村萬斎？

ゆかり　野村萬斎。

佳　あ、じゃあじゃあ。

ゆかり　うん。ちょっとひとつ走り。

佳　待ってますよ、きっと、野村萬斎。

ゆかり　ごめんね、手伝えなくて。

樹里　全然・全然。私たちで何とかできますから。気にせず。

ゆかり　うん。そのちゃん、朝霞さん、お先失礼します。

北園　お疲れ様ー！！

朝霞　お疲れ様。

ゆかり、出ていく。

間

---

---

## 2

佳　デレデレですね、ゆかりんさん。

樹里　ね、すごい、恋する乙女。

北園　新鮮。

佳　お肌つややかでしたよ。

樹里　——たんぱく質じゃない？

佳　たんぱく質？ たんぱく質って——、ちょっとやだー！

北園　お肉？

佳　たんぱく質。



北園 トリ胸的な？

佳 たんぱく質ですよ。

樹里 何でもないです、何でもないです。

北園 どういうこと？ (朝霞に) ねえ、どういうこと？

佳 たんぱく質ですって。

北園 トリ胸的な？

わーきゃー。

樹里 ★よし、やろやろ、続き。

北園 続き？

佳 あれー、樹里さん急にやる気。

樹里 やっぱ好きだわー、ゆかりんさん。好き。や、本人に会ったら、ちゃんと祝ってあげた  
いつていうか、喜んでほしいっていうか。

北園 もしかして何かやるの？ 結婚式。

樹里 まあ。

佳 後輩からのささやかな、盛大なサプライズ。

北園 えー楽しそうー。愛されてるね、ゆかりちゃん。やらないところはやらないよ？ そんな  
こと。

佳 だってゆかりんさんですよ、社を上げてやらないと。

朝霞 ぞのちゃん、私たちもやろ。

北園 朝霞さんやらないの？

朝霞 私は(やらない)。若い子がやった方が盛り上がるでしょ。

佳 参加したかったらいつでも言ってくださいね。

朝霞 うん。

北園 ——でも会社残ってくれて良かったね。心配してたもんね、朝霞さん。

佳 退職しちゃうかと思いました、私も。

北園 旦那さんの方なんだって、辞めるの。

樹里 そうなんですか？

佳 (ほたるに) みつば建築？

ほたる もう辞めたみたいだけど。

佳 ——ってことは、ひも？

北園 お教室開くんだったさ、お花の。

樹里 へええ。あ、華道の。

朝霞 正直ゆかりちゃん任せなところあるしね。ミートハウスとみただってゆかりちゃんが  
取ってきてくれた案件だし。

樹里　　すごいですよ。最初話も聞いてくれなかったのに。

朝霞　　そうだよ。大口案件だよ。

佳　　あの、なんて言うんですか？（言葉を絞り出し）人生斜に構えてる感じ？——いい意味で！自分の感情に振り回されないというか、たかが仕事だろ？くらいに捉えてるのがカッコいいです。

樹里　　別に媚び売ってる訳じゃなくてね。好きだわー。

朝霞　　でも自分が取ってきた仕事を、ほたるちゃんリーダーにして任せるっていうんだから、相当信用してるんだよ、ゆかりちゃん。

樹里　　そうだよ。

ほたる　　恐縮です。

北園　　——いいなあ、なんか。絆だなあ。

#### 一拍

樹里　　あれ。どうしたんですか、ぞのさん。

北園　　私なんて個人で起業してるからさ。こういう風にみんなから慕われて、いいなあゆかりちゃん、っていう。

朝霞　　ぞのちゃんの事も、めちゃくちや頼りにしてるからね。

ほたる　　そうですね？　朝霞さん一人じゃどうにもできないですから、経理。

朝霞　　うんうん。

北園　　そうだけどさあ、——なんか、考えちゃうよね。

樹里　　らしくない。

北園　　冬だからかなあ？

朝霞　　ぞのちゃんいないと会社回らないから。

樹里　　ぞのさんムードメーカーだし。

ほたる　　空気が和らぐし。

朝霞　　みんなぞのちゃん来るの、毎月楽しみにしてるよ。

#### 間

北園　　（取り直して）やだ、私ったら、こんな変な空気にしちゃって！　ふふふふ、もう、これ言ってもらうためにここ来てる。煎餅持ってきてる。

朝霞　　ちょっと。

北園　　あー、喋ったら喉乾いちゃった。

朝霞　　コーヒー飲む？

北園　　飲む。

朝霞 こっちも早く終わらせちゃお。

北園 そうだね。

朝霞 あ！

北園 なに？

朝霞 ゆかりちゃんいるなら書類書き直してもらえばよかった。年末調整。

北園 —あ。

朝霞 また今度でいいか。

朝霞、北園、出ていく。

佳 樹里さーん、やる気出てきたじゃないですか。

樹里 まあね。なんか、ちょっと恥ずかしさがあったのかも・さっきまでは。

佳 恥ずかしさは悪！

樹里 佳ちゃんはずごいね。臆さないね。

佳 (ほたるの真似) 臆さないのがー、私の良いところなんですよー。

樹里 あー！

佳 (ほたるを気にして) 嘘・嘘！ 撤回・撤回！

樹里 (笑) でも良いと思うよ。たまにヒヤツとするけど。

佳 あの、ぶっちゃけ入って3カ月の私と、もう5年くらい一緒にいるお二人とは年月の重みが違うじゃないですか。埋められない溝。

ほたる 溝だなんてそんな。

佳 大きいですよ時間は。出会って3カ月の私から出る言葉なんて月並みだし。でも余興なら、感謝とか祝福の気持ちとか伝わるんじゃないかと思って。だから今回の式は絶対成功させた  
いんです。

樹里 そうね、私たちゆかりんさんに育ててもらったようなものだからね、この会社で。

佳 そうですよ。え、え、見たくないですか？ ゆかりんさんの女泣き。

樹里 まあ、見たい、かも。

佳 私にできるのは全力で踊ることのみですから。

樹里 ほたる大役頼んだよ。

ほたる うんうんうん。

佳 よし、やったるぞ！ したらば・ほたるさん、ラストセイ！

間

佳 セイ！

一拍

佳 ほたるさん。

樹里 ほたる。

ほたる ★やめませんか？

一拍

樹里 ん？

佳 なんて？

一拍

ほたる やめない？ これ。

佳 —— 一世風靡セピア？

樹里 一世風靡セピアは、まあ、一考すべきだったかもね。

佳 賛成してくれてたんじゃないんですか？

ほたる じゃなくて、——これ自体。

佳 —— はい？

ほたる 余興、やめませんか？

間

佳 あれ。さっきの、話。

樹里 うん。あれ？ 結束、力。

佳 —— どうしたんですか？

樹里 緊張しちゃってる？

佳 プレッシャーかけちゃいましたかね？ あ、の、大丈夫ですよ？ 私たち全力でサポートしますから。

間

樹里 え、今の流れから？

佳 な、な、な、なんで、理解が、追いつかないというか。

樹里 何かあった？

佳 あ！ —— さっきの話。元カレ。

樹里 山本？ え、そうなの？

一拍

樹里 だって、もう終わってるじゃん。

佳 あ、私たち全然気にしないですから、そこは。大丈夫ですよ。

樹里 うんうん、単純に、後輩として。

ほたる いや、山本のことは何とも思っていないから。

樹里 じゃあ――、

佳 何とも言えない気分？

樹里 なに？

佳 ほら、私も経験あるんですけど、親友と元カレが結婚することになって、どんな顔していか分からないみたいな。

樹里 （ほたるに）そういう感じ？

ほたる ――というか。

樹里 うん。

ほたる ――なんで言ったの？

樹里 ――え？

ほたる 私と山本が付き合ってたこと。

樹里 え、もう終わってると思ってたから。

ほたる 終わってるよ。

樹里 時効かなーと思って。

ほたる 時効とは？

樹里 時効っていうか、ゆかりんさんも気にしてたと思うし。

佳 そうですね。ゆかりんさんもそこ引っかけたみたいだし。

樹里 そうだよ。そこ不安なまま式迎えるのもあれじゃない？

ほたる 私は？

一拍

ほたる 私はいいの、そこでバラされて。

樹里 バラすっていうか、事実ではあるでしょ？

ほたる 事実事実。てっちゃんとは付き合ってた。

佳 てっちゃん。

ほたる でもそれはさ、私の話であってゆかりさんの話ではないじゃん。

樹里 そうだけど、結果良かったじゃん。

ほたる ゆかりさんが安心するなら私の過去を話してもいいの？

樹里 だって、え、ちょっと理解が。

ほたる 理解できない？ え？ 逆に理解できない、理解できないのが。ずっと引っかってた・私さっきから。

樹里 だって、ほたるはもう山本さんとは終わってて、何とも思っていないんでしょ？

ほたる そうだよ。

樹里 だったら別に、

ほたる ★私が付き合ってたこと、バラされなくなかったんだけど。てか・言っていって私言った？

樹里 ——言っていないけど。

#### 一拍

佳 さっきはそういう流れと言うか、恋バナの。盛り上がりましたしね、場が、空氣が。

ほたる 流れでー？

佳 流れていうか——、みんな誰にも言わないから、大丈夫ですよ。

ほたる みんなの前で言っちゃった人が既にいるんですけど。

#### 間

佳 ごめんなさい！

ほたる なんて佳ちゃんが謝るの？

佳 私が色々聞こうとしちゃったからですよ。ほんとすいません。

ほたる 佳ちゃんが悪くないんじゃない？

佳 いや悪いです。なんか、——面白がっちゃったりして。

ほたる 面白かったんだ。

佳 面白かったっていうか、いや違って、あの、ちょっと、他人の不幸を蜜の味にしちゃったっていうか。

ほたる 不幸——。

佳 ★不幸じゃない。不幸じゃない。傍「はた」から見たら不幸かもしれないけど、それはその人の自由ですし、あの、私の語彙力が追いついてないんですけど不幸ってことを言いたいんじゃない、やなくて、

ほたる 不幸なんですけど今実際。

佳 ごめんなさい！ 余興はちゃんとやりましょう？

ほたる あの——、私抜きでやってもらってもいい？

樹里 ほたる。

ほたる やりたくないねん。

樹里 ないねんって。

ほたる あ、もう、いいから。そういうことじゃないってうか。それはもう分かったから。とりあえず、私は余興出たくないねん。

佳 2人は無理ですって。ほたるさんなしでやるんですか？ ソイヤソイヤソイヤソイヤ。

ほたる だって、

佳 ★ペアだったほたるさんが出てないとゆかりんさん悲しいですよ。

樹里 そうだよ。さっきのはほんとにごめん。でも山本関係ないんでしょ？ ☆山本はともかく、ゆかりんさんを盛大に祝ってあげようよ、私たちで。

佳 そうそう。絶対喜びますから・ゆかりんさん。

朝霞 インスタント味噌汁、北園コーヒーを持って戻ってくる。

北園 ☆ローン組めば？

朝霞 ローンかあ。

北園 貯金できた方が良くない？

朝霞 確かに。そうなんだよね。

北園 ずっと賃貸っていうのもさ。

朝霞 考えちゃうよね。

間

北園 あ、小浜ちゃん。

佳 あ、はい。

北園 確認したいことがあって。源泉徴収の。

佳 はい、なんでしよう？

北園 ちょっといいかな（部屋の外に出ようとする）？

佳 はい。——え、ここでもいいですか？

北園 一応個人情報だから。

佳 そうですよ。えと、あ、じゃあ、——ほたるさん、ここいてくださいね、絶対、約束。

佳、北園出ていく。  
間

朝霞 進んでる？ 練習。

樹里 いやあ——、何飲んでるんですか？

朝霞 味噌汁。インスタント。

樹里 ああ。

ほたる 佳ちゃん振り付けとかできるんだから、フォーメーション変えてさ。

朝霞 ——どうしたの？

ほたる 朝霞さんに入ってもらっても良いし。

朝霞 何の話？

#### 一拍

ほたる 普通に無理くない？ 私がずっと黙ってるつもりだったこと・みんなの前で言われて。ここにいたメンバーは・私がその、山本と付き合ってたことを知ってる状態で踊ってるところ見られるわけでしょ？ ——無理くない？

樹里 ごめん、ほたる。さっきは深く考えてなくて。

朝霞 あの話？ 私は別に気にしてないよ。

樹里 朝霞さんもこう言ってるし。ね？

ほたる 朝霞さんとか、樹里がそう思ってたとしても私はそう思えないから。

樹里 考え過ぎだよ。

ほたる 考え過ぎかな？ 私的にはこれって裸見られるより恥ずかしいんだけど。裸見られる方がまだいいんだけど。

樹里 大丈夫だから。

ほたる 大丈夫なの？ じゃあ裸で出席していい？

樹里 そういうことじゃなくて。

ほたる ど、ど、どういうこと？ 分かんない。

樹里 裸か裸じゃないかは今問題にしてないから。

ほたる みんなが私のこと知ってる状態で出席するのが大丈夫なら、私は裸で出席するのも大丈夫だけど、っていう話をしてるんだけど。

樹里 裸は一回忘れようよ。

ほたる え、私の言ってること分かってる？

樹里 分かってる。一回落ち着こう。

ほたる 落ち着いてるよ？ 落ち着いて樹里が言ってること理解しようとしてるけど。え、落ち着いて考えたらさ、なんで私勝手に心かき乱されて、かき乱された本人に落ち着けて咎められてるの？ 解せぬ。

樹里 ごめんほんと。私がほたるのこと考えないで勝手に色々言っちゃって。ほんとに反省してるから。

ほたる さっきからごめんごめんって、ごめんの空気ですべて乗り切れると思っているの？

樹里 そんなこと思っていないけど。



ほたる 朝霞さんが入ったらどうかな？

一拍

朝霞 え。

樹里 いや。

ほたる 私の代わりに朝霞さんが入ったらいいんじゃない？

間

朝霞 私は——、ごめんね。

樹里 私たちでやるって話ですから、これは。

ほたる 朝霞さんだって一緒に働いてる訳だし、立場的には私より上だからゆかりさんも喜ぶんじゃない？

朝霞 ほたるちゃんたち三人でやった方が喜ぶと思うよ？

ほたる いや、山本との過去がある私よりも、朝霞さん出た方が嬉しいですよ。

朝霞 私は出ないってことで樹里ちゃんには話してるから。

樹里 はい、そう聞いてます。

朝霞 ちょっと、私は今回出られないのよ。

ほたる どうしてですか？

朝霞 どうして、——諸事情により。

ほたる 諸事情とは？

朝霞 個人的なことだから。

ほたる 個人的なこと。

朝霞 ——私だって人に言いたくないこと色々あるから。あんまり人に言っていないし、詮索されたくもないし、ほたるちゃんの気持ちもわかるし。

樹里 そうですね、——ごめんなさい。

朝霞 大殺界なのよ。

間

ほたる え？

朝霞 ——大殺界なの、今年。

間

樹里 何、星人なんですか？

ほたる 星人？

朝霞 水星人マイナス。

樹里 あー。え、ど真ん中じゃないですか？

朝霞 そうなの、停止期間なの。樹里ちゃんは？

樹里 私金星人、マイナス？ だったかな？

朝霞 そんな感じる(笑)。

樹里 え、なんでですかー(笑)。

朝霞 さっぱりしてるというか。じゃあ、え、今年割といいんじゃない？

樹里 —立花？

朝霞 ええ、最高じゃん。真逆真逆。

ほたる 分かんないんですけど。

## 一拍

朝霞 種子、緑生、立花って巡りで絶好調の年。

ほたる 余興出られない理由？

朝霞 おとなしくしようと思って。大殺界の人が結婚式で踊ったら、縁起悪いでしょ？

樹里 —ま、そういう考え方も。

朝霞 こういう出し物は下の子たちがやるのがグツとくると思うの。もちろん会社としても個人としても、ゆかりちゃんの事ずっと頼りにしてたから・私も。大殺界だから踊れないけど、大殺界らしくゆかりちゃんには私なりに精一杯お祝いしてあげるつもりだよ？

ほたる 大殺界の人が踊って縁起悪いんだったら、失恋した人が踊っても同じことでは？

朝霞 失恋なの？

ほたる 失恋ではないですけど。でも広い意味では(失恋)。

樹里 朝霞さんからは事前に参加できないって話聞いているから。

ほたる 私結婚式出るのすら嫌なんだけど。

樹里 そんなこと言わないで、一緒に出ようよ。いや、もうほたる・私と一緒にとか嫌なのかもしれないけど。ゆかりんさんにはほんとにお世話になったじゃん、うちら。ほたるだって、先輩後輩以上にお花だってゆかりんさんに憧れて始めてさ、会社以外でも付き合いがあるんだし。そんな仲なのに、私のせいでほたるが余興出ないのなんてゆかりんさんに申し訳ないから。これはもう私の我儘なんだけど・ほんとに。もう、私の事しばらく嫌いになってもらっているから、しばらくっていうか、その、嫌いなままでもいいから、——一緒にやろうよ。

## 一拍

樹里 さっきは良かれと思って言っちゃたの。ほんとにごめん！

ほたる ——良かれと思ってが良かったことなんて今までの人生でありましたか？ 大体良かれと思ってやった結果が良くなかったから人々は「良かれと思って」って言うんだよ。

樹里 ——もう、私ごめんしか言えないけど

間

朝霞 えと、私も一児を育てる母だから、あの、ね、樹里ちゃんみたいに謝れることはすごいことだなと思うんだ。なかなかできないよ？ あ、別に子ども扱いしてる訳じゃなくてね？

ほたる 謝れば何でも許されるのは違うんですか？

朝霞 そうということ言いたいんじゃないよ。極端だけど殺人とかは、そりゃ謝ったからオッケーなんてことにはならないよ。今回の事は、ほたるちゃんにとっては不都合だったかもしれないけど、樹里ちゃんはゆかりちゃんの為を思ってさっきみたいなこと言っちゃった訳で、完全に悪いとは思えないと思うの。これがきっかけで今まで一緒に頑張ってきたほたるちゃんと樹里ちゃんの関係が崩れちゃうのは、すぐもったいないことじゃない？

佳、北園戻ってくる。

佳 ショックですー。

北園 今からどうにかするって言っても、時期が時期だからねー。腹くった方がいいよ。

佳 (ほたると樹里の間に入って) 聞いてくださいよ、私乙欄って言うの知らなくて、今年も確定申告——。

間

樹里ほんとにごめんなさい。

樹里、深々と頭を下げる。続いて、佳も頭を下げる。

間

ほたる 私だってゆかりさんお祝いしたいよ。——あーもう、ごめん、あの、樹里がゆかりさんの事考えて暴露したのも、理解できるし、怒ってないし私。

朝霞 ——ええ？

ほたる ごめん。私が——、私もゆかりさんをお祝いしたい気持ちはある、ほんとに。お祝いしたいに決まってるじゃん。樹里と佳ちゃんには悪いけど、私のお世話になり具合は二人の比じゃないっていうか。樹里は知ってると思うけど・もうすごい迷惑かけてるから。ゆかりさん

のおかげだから、ここまでやってこれるのは。感謝してもし切れないんだ。でもどうしても私お祝いできる感じじゃなくてこの件は。

一拍

北園 やっぱ山本さんのことが、っていう話？

ほたる 山本のこともほんとに今は全然何とも思っていないです。ゆかりさんも山本もそれぞれ祝福したい気持ちはある。だからさっきのこと、ほんとはどうでも良くて。

樹里 え、話が見えてこないんだけど。

ほたる だよね・だよね。いやごめん、忘れてこの話は。ちょっと今回は私、入らない方向で考えてほしいの。

一拍

佳 あの、——一世風靡セピアだったら、変えてもらっても。

ほたる ★一世風靡セピア関係ないから。

佳 でも、

ほたる ほんとに。そこは関係ないから。佳ちゃんが一生懸命考えてくれたパフォーマンス、こんな風にして本当にごめんね。皆さんも、お騒がせして本当に申し訳ありません。

佳 ——いや。

樹里 ど、ど、どういうこと？

ほたる 落ち着いて樹里。

樹里 うん、うんうん・落ち着いてるけど、え？ じゃあなんで余興出ないの？ ほたるは。

ほたる だからそれは——。

朝霞 個人的な理由、なんじゃない？

樹里 ——こ。

朝霞 だとしたらあんまり聞き出そうとしない方が。

佳 でも二人でやるのは無理ですよ。三人構成なんですから。

朝霞 頑張っって今からもう一人探すとか。私以外。

佳 あと三日ですよ？

樹里 個人的な理由、大殺界なの？

佳 ——なんですか？ それ。

朝霞 ちょっと言わないでよ。

樹里 さっきはごもっとも、って思っって聞いちゃいましたけど、大殺界なの？

間

朝霞 みんなはご祝儀、いくら包むの？

樹里 え？

朝霞 ご祝儀。上司へのご祝儀、いくら包むの？

佳 ——えと。

樹里 三、万円、くらい？

佳 ですかね？ くらい。

朝霞 私は十万。

佳 じゅう——！

樹里 そんなの、年の功。

朝霞 歳？

佳 樹里さん。

樹里 朝霞さんの方が長く働いてるんだから、私たちにとっての三万と、朝霞さんにとっての三万は重みが違いますよ。

朝霞 同じ。私だってお給料全部自分のものになるわけじゃないんだから。子供のために使わなきゃいけないんだから。

樹里 お金と人の気持ちは比べられませんよ。

朝霞 同じだよ。私は踊らない代わりにお金で祝福する。どうしてあんなペラペラな紙のために人は働くの？ お金は人の信用によって成り立っているからだよ。お金は人の想いだし、人の想いはお金だよ。

北園 真理。

佳 ——あと三日ですよ。

間

みんなの視線が北園に集中する。

北園 え？ 私？ 無理・無理・無理・無理。部外者だし。年末調整、あるし。

佳 違う違う。三人構成っていうか、ほたるさんが出ないと意味ないんですよ、この余興は。

樹里 せめて理由だけでも聞かないと私たちも納得できないから。

佳 ていうか出ないと、ほたるさん。

樹里 なんでなの？

ほたる それは言えないっていうか、言っちゃいけないっていうか。

ゆかり、花屋で買ったらしき植物を持って入ってくる。

ゆかり ただいまー。

朝霞 ゆかりちゃん？ どうしたの？  
北園 帰ったんじゃないの？  
ゆかり これ（買ってきた花）じゃないって怒っちゃって。  
北園 ええ、こんなとこいていいの？  
ゆかり も、こーなっちゃってて（視界が狭くなってる様）。  
北園 ああ。  
ゆかり ——休憩中？  
朝霞 ま、そうね。息抜きに。

各々息抜きをしてるような仕草。

北園 根詰まってるのか、山本っち。  
ゆかり コンクール近いからさあ。  
佳 大変ですね、ゆかりんさんも。  
ゆかり 全然。慣れてる。人いるの嫌なのちょっと分かるし。  
北園 わあ、でもいいね、理解があって。  
ゆかり たまにムカつくから、密かに写真撮ってるんだけど。  
北園 え、みせてー。  
佳 私も見たい！  
ゆかり ゴのちゃん見たことあるじゃん。

ゆかり携帯を出す。

ゆかり 写真撮られるのすごい嫌がる人だからさ。  
北園 完全に隠し撮りの画角。  
ゆかり ドアの間隙から。  
佳 横顔イケメン。え、イケメンじゃないですか。  
ゆかり こういう時だけかっこよく見えるんだよね。  
北園 王子って呼ばれてるんだよ、生け花界の。  
ゆかり 顔売ってもらわないと。  
佳 じゃ、ゆかりんさん生け花界の姫ってことですか？  
ゆかり なにそれ。  
北園 ファンには内緒なんですよ？  
佳 ファン？  
朝霞 ☆そのちゃん、こっち。  
ゆかり ☆や、ファンっていうか、門下生みたいな。

佳 フライデー。

ゆかり あ、そう、だから手伝えるよ、ミートハウス。

佳 ——あー。

ゆかり え？

佳 ミートハウスはとりあえず、ね？

樹里 はい。とりあえず大丈夫ハウス。

ゆかり 大丈夫ハウス？

樹里 とみた。

佳 ——っす。

ゆかり そう？

北園 お煎餅食べる？ ね。

佳 そうだそうだ。北園さんせっかく持ってきてくれたんだし。ちょっと休憩しましょう。ね。

☆☆ゆかりんさんも

樹里 食べましょ。

朝霞 ☆☆ちよっと。

北園 だって。

ゆかり おいしいやつ？

北園 そうそう。

朝霞 ——いただくか。

北園、佳、煎餅をみんなに配る。

佳 何飲んでるんですか。

朝霞 味噌汁。

佳 へえー。

各々に煎餅を持ち、食べ始める。

しばし無言の時間。

佳 これ美味しいですね。

北園 でしょ？ なかなかこの辺売ってないから、山形から取り寄せてるの、電話で。

佳 ふーん。

北園 これちゃんとうるち米から天日干しで作ってて——、最近サクサクしたスナック菓子みたいな煎餅多いじゃない？ 私あれ許せないの。全っ然美味しくない。

佳 すごーい。煎餅命なんですね。

ゆかり、吹き出す。

佳 うええ、どうしたんですか。

ゆかり ごめんごめん。

樹里 お茶いります？

ゆかり 大丈夫大丈夫。――（笑いをこらえながら）佳ちゃんって、

佳 ――私？

ゆかり あ、ごめんごめん、何でもない。

佳 なんですか？

ゆかり ねえー、も・ほたるー。

ほたる ――え、私？

ゆかり 思い出しちゃったじゃーん。

樹里 （察して）あー、も・やめてくださいよ、こんな時にー。

ゆかり だってー。

樹里 ☆☆☆もやだー、煎餅でー。

ゆかり くっくっくー。

佳 ☆☆☆何ですか・何ですか？

北園 どういうこと？

ゆかり や、あのね――、ダメだ、朝霞さんいるし

樹里 ですね、やめときましょ。

朝霞 なあに？

佳 気になるんですけどー。

樹里 や・も、ほんとしょうもないことなんで。

ゆかり そうそう。

北園 じゃ、教えてよ。

ゆかり ほんと何でもないから。ほたるが言い出したことだから。

樹里 そうそうそう、そうなんです。元はと言えば。

佳 宙ぶらりなんですけどー。教えてもらえないとお煎餅食べられないですよー。

北園 かわいそう！ 教えてあげて。

樹里 でも（朝霞さんいるし）。

北園 大丈夫・大丈夫。

佳 今休憩中ですから。ね？

樹里 えー、だからなんていうかー、心理テストで。

佳 心理テスト？

北園 お、いいじゃないじゃん。

樹里 ご飯の食べ方で、あることが分かるっていう。



佳 あることって？——え、私、どうだったんですか？

樹里 あることっていうか、あることの傾向がだいたい分かるって言う、

佳 だからあることって？

北園 そこが知りたいのよ。

ほたる セックスです。

一拍

佳 ☆え。

北園 ☆え、もっかい言って？

ほたる ——だから、セックスです。

間

北園 ド下ネタじゃん！

ゆかり 違うの。みんなで煎餅食べてたら、なんか思い出しちゃって。

北園 違うじゃないじゃん！

ゆかり （朝霞に）業務外！ 私業務外だから。

樹里 （挙手して）休憩中！

ほたる 食と性は繋がってるじゃないですか。

北園 つ、つ、つまり？

一拍

ほたる、樹里に視線を向ける。

樹里 例えば、ご飯三角食べる人はまんべんなく——（愛撫してくれる的な動作）とか、あと汁物の飲み方とか。

北園 汁物ですと？

ゆかり 佳ちゃん、煎餅舐めてるんだもん。

佳 舐めてないですよ、噛みやすいようにこう、濡らしてるんです！

ゆかり 濡らしてるんだ。

佳 ねえ、ひどーい。そのさんだってバリッバリいってましたよ。

北園 バリッバリいくのが煎餅に対しての礼儀でしょ？ そばだったら啜るし、寿司なら一

口だし。だからそういう、お相手に対してもちゃんと敬意をもって——、あら？

ゆかり 結構当たるのよ。

北園 やだー、そんなこと言われたら今後意識しちゃうじゃん、誰かと食べてる時。やだー！

ゆかり 私じゃなくてほたるに言ってよ。

佳 ☆ほたるさーん。

北園 ☆ほたるちゃん。

ほたる ★山本三角食べですもんね。

間

ゆかり そうそう。三角食べなの。

樹里 聞いてないですって(笑)。

北園 まんさーい。

佳 想像しちゃうじゃないですか。

朝霞 そのちゃん、早く終わらせよ、家に子供待たせてるから。

北園 そっかそっか。

ゆかり あ、ごめんなさい、邪魔して。

朝霞 邪魔じゃないよ。でも、そろそろ切り上げないと。ほたるちゃんたちも。

樹里 ——あー。

佳 私たちだけ残るっていうのはダメですか？

朝霞 私閉めて帰らなきゃだから。

樹里 そうですよ。

佳 え、でも。

ゆかり 帰った方が良くんじゃない？ 残業なんてしてもいいことないよ。

佳 で、すね。

朝霞 キリが良いところで終わりにして、みんなで出よ。

ゆかり そしたら私・もう行こうかな。煎餅食べに来ただけになっちゃった。

北園 家入れるの？

佳 まあでも、式も近いですし。

樹里 ですね。

ゆかり その辺で時間潰せるし。

北園 ——あ！

ゆかり はい？

北園 書類・書類。

朝霞 あ、そっか。

ゆかり ああー。

北園 ちょうど良かった。帰る前に書きちゃって。

朝霞 (北園に) 仕事できるう。

北園 扶養の欄に、山本さん？ 入れて。

ゆかり はいはい。

北園、ゆかりに書類を渡す。

樹里、佳、この後どうするか無言で相談する。

北園 十二月三十一日現在の関係をね。

ゆかり 現在、十一月だけど。

北園 私来月まで来れないからたぶん。

ゆかり 分かってる・分かってる。

北園 年末関係変わってたら嫌よ？

ゆかり スピード感ありすぎでしょ。どれ？

北園 ここ。

ゆかり ——私が養うのだ。

ゆかり、扶養の欄を書き込もうとする。

ほたる はあつ。

ほたる、書類を奪う。

ゆかり え？

ほたる ——え？ あ、良い紙ー。

北園 ——そう？

ほたる ペンが、引っ掛かりやすそうで。

北園 まあ、たしかに。大事よね。

ゆかり 返して？

ほたる あら、失礼しました。

ほたる、書類を戻す。

ゆかり、書類を書こうとする。

ほたる わああああ。

ほたる、書類を奪う。

ゆかり わあ、わあ。

北園 わあ。

樹里 ほたる？

佳 紙、そんな気に入りました？

ほたる いや？

間

ゆかり え？

ほたる え？ え？

ゆかり いやこっちが、え？

朝霞 こっちも、え？

間

ゆかり プリーズ、プリーズ書類。

ほたる イヤア。ソーリーソーリー。

ゆかり プリーズギブミー？

ほたる オーケーオーケー、ザッツザプラン。

ゆかり ヘイ。

ほたる イヤア。

ゆかり ドゥーユーアンダースタンド？

ほたる オフコース。

ゆかり ノー、ユードンアンダースタンド。

ほたる ノーノー、アイアンダースタンド。

ゆかり ヘーイ。

ほたる ★ヘーイ／アナタハ、アイヲ、チカイマスカ？

ゆかり ワッツ？

ほたる イツイカナルトキモ、トモニテヲトリアイ、ササエアイ、アイシアウコトヲ、チカイ

マスカ？

北園 なに？ ジョーク？

朝霞 だとしたら何ジョーク？

一拍

ゆかり ち、かいます？

ほたる ヤクソクデスカ？

ゆかり　やく、そくです。

ほたる　ホントノホントニチカイマスカ？

樹里　★ちよっと何やってんの。

樹里、ほたるの頭を叩く。ほたるから書類を奪い、ゆかりに返す。

樹里　すみません、ゆかりさん。

ほたる　オー！

樹里、再びほたるの頭を叩く。

ほたる　くうううう。

樹里　——ごめん。

ゆかり　なんかあった？

樹里　いや、まあ色々、あったんですけど。

ゆかり　え、大丈夫？

樹里　☆大丈夫です。

ほたる　☆だいじょばないですー。

樹里　ほたる。

ゆかり　なに？

ほたる　全然、だいじょばないですー！

樹里　ゆかりんさん帰らなきゃいけないから。

ほたる　帰れないんじゃないんですか？

樹里　ねえ。

ほたる　はい。

樹里　ちゃんとして。

ほたる　はい。

ゆかり、書類を書こうとする。

ほたる、書類を奪おうとする、が樹里に止められる。

樹里　今だ、ゆかりんさん今！

ゆかり、書類を書く。

ほたる　ダメ！　ダメ！

樹里 いい加減にしなよ！  
ゆかり （書類書き上げ）書いた。書いた。  
ほたる わああああ。  
樹里 渡して、そのさんに。

ゆかり、北園に書類を渡す。

ゆかり 渡した。

北園 も、もらった。

朝霞 （書類をカバンにしまい）しまった。

樹里 よし。

ほたる 結婚、やめてください！

樹里 ちょ、ほた、

佳 え？

一拍

ほたる やめてください。結婚。

間

樹里 みつともないからやめなよ。恥ずかしくないの？ （ゆかりに）すみません。

ゆかり いや。

樹里 謝りなよ。ゆかりさんに謝りなよ。今の。

ほたる 違う。

樹里 違うくないでしょ。失礼でしょゆかりさんに。自分で整理付けなよそこは。周りを振り回すなよ。

ほたる 私は山本好きじゃない。

樹里 嘘つかないでよ！ じゃあなんでこんなことするの？

ほたる 好きじゃない。

樹里 そんな言うなら、出なくていいよ、来なくていいよ、結婚式。

ゆかり ——来てよ。

樹里 でも、

ゆかり 来てよ、ほたる。

ほたる 無理です。

樹里 な、んなの。

ほたる 私はゆかりさん好きだから。

樹里 はい？

ほたる ゆかりさんを私は幸せにはできないけど、これは違うと思うんですよ。

間

3

ゆかり ほたる。

一拍

ゆかり ごめんね、その、ほたるの気持ちに伝えてあげられなくて。——私も最初はびっくりしたけど、今は受け入れてるから。

間

佳 え・待って。

一拍

佳 ——逆？

北園 ——何が？

佳 逆では？ 樹里さんが言ってることは。

樹里 ううん？

北園 どういうこと？

朝霞 いい、いい、いい、あの私研修受けてる。

ほたる 研修？

朝霞 これはパーソナルなことだから。

佳 そ、ですね、パーソナル。

北園 なに？

朝霞 （北園を咎める）パーソナル、だ。私たち出ていった方がいいかな？

ゆかり なんですか？

朝霞 いや、ほら。

ゆかり　だって、え？　なにか勘違いしてます？

佳　色々、勘違いだったかもです。

ゆかり　うん。

北園　あの、全然（分かんない）。

佳　私たちがどうこういうことじゃないと思うので。

ゆかり　そうかもしれないけど。

樹里　でも憶測で決めつけるのは良くないかと。

朝霞　憶測、よくない。

北園　憶測すら（分かってない）。

朝霞　憶測、よくない。

佳　主任。

朝霞　分かった。まずは誤解から解かせていただきたいんだけど。

ゆかり　はい。

朝霞　——ほたるちゃんの恋愛対象はゆかりちゃんってことで合ってる？

間

北園　え！

朝霞　何も言わない。それについては何の異議もないから私は。

ほたる　あの？

佳　自分の固定概念に嫌気がさしてます。

ゆかり　あのあのあの、やっぱり、なにか勘違いしてます？

朝霞　あの私研修受ける。

ゆかり　だから研修って？

朝霞　上層部はみんな受けてて、上の人たちだけじゃなくてみんなも受けられたらいいのに  
って部長にも頼んでいる。

ゆかり　それはそうかもしれないですけど、その研修は。

朝霞　そういう社会だから。インクルージョン。

佳　社会的包摂。

ゆかり　そうですね。でもあの私別に、

朝霞　★ダイバーシティアンドインクルージョン。

佳　ダイバーシティ。

ゆかり　や、あの・なんで（なのでの意）。

ほたる　★あ、もうそういうことで。そういうことですよ・つまりは。

ゆかり　——違うでしょ。

ほたる　風月流「ふうげつりゅう」の男とは一緒にならないでほしいんです。ゆかりさんには。



間

朝霞 風月流？

佳 風月流とは？

ほたる 最近出てきたちゃんぽんな流派のやつなんですよ、てっちゃんは。

ゆかり ほたる！ そんなこと言っちゃいけない。

間

朝霞 勉強不足でごめん。分かりやすく。

北園 華道の流派。

朝霞 華道？

北園 山本君は私たちとは違う流派なんだな。

朝霞 ——ほお？

一拍

朝霞 難しい。え？ 華道の流派で結婚やめてほしってこと？

北園 ロミオとジュリエットみたいな。

朝霞 おばさんついていくの精一杯だわ。

佳 派閥？

樹里 ほたる、そんな、流派ごときで結婚やめろとか言ってたの？

ほたる 流派如き？ 誰が誰を好きかっていうパーソナルな問題は社を上げて取り組もうと

してるのに、流派は如きの問題なんですか？

佳 主任。

朝霞 え、あ、そんなことない。由々しき問題。

一拍

朝霞 ごめん私、LGBTQ+の研修は受けたけど、華道の流派の講習は受けたことなくて。

そういう流派があるのね？

北園 うーん、全国に四百くらいあるから流派。

朝霞 ええ？

ほたる 見ました。みつば建築のエントランス。てっちゃんの花。——どこが用「よう」か副「ふく」が分かんない。あんな左右対称な生け花、生け花じゃない。

ゆかり　てつくんはフラワーアレンジメントも噛んでるから。  
ほたる　不安定さを良しとする生け花に安定はいらない。

ゆかり　安定の中に晩夏の向日葵を生けることで、移ろいやすい季節と人の心を表しているから。

ほたる　体「たい」があんな、金属でできた花なんて。

ゆかり　自由な表現が風月流の教えだから。

ほたる　風月流の上の人たちも、なんか黒いスーツ着て、アーシャ撮って。私たちは花を美しく見せることを一番大切にしないじゃない黒子であるべきだと、ゆかりさんから教わったのに。花は自己表現のためにあるんじゃない。言葉は悪いけど、イヤらしいです。

ゆかり　そういうマネージメントも、これからの華道家たちを世に送り出すためには必要なことだから。

#### 一拍

朝霞　分かった。全然分かんないけど、対立してるってことはとてもよく分かった。

北園　私くらいの初心者だとそんな気にならないけど、ゆかりちゃんはほら、准総国会頭だから。

佳　准総国会頭。

樹里　だから分かんないって、准総国会頭。

北園　普通にOLやってるの不思議な段位。

ほたる　ゆかりさんは、もう弟子取ってやっていけるのに。ここで働かなくていいのに。ゆかりさんが教室開いて、山本が働けばいい。なんでゆかりさんが仕事続けて、風月流の山本が教室開いて・ゆかりさん働いて、

ゆかり　山本はもう仕事、できないの。

ほたる　おかしい。

朝霞　ん？　仕事できない？

ゆかり　もう、会社は続けられなくて。

ほたる　絶対おかしい。

朝霞　え、え、どうということ？

#### 一拍

ゆかり　——山本は、お酒をすごく飲む人で。

朝霞　さっき聞いたけど。

ゆかり　お酒を、すごく飲むんです。

朝霞　う、ん？

ゆかり　ウイスキーボトル二本、ワインボトル何本か奮発して買っても、朝起きると全部空っぽになってたりするんです。二人で毎日飲んでも二週間くらい持つ計算で買ってるんですけど。しかも本人は飲んじゃったこと全然覚えてなかったりして。

朝霞　——それは、日常生活大丈夫なの？

ほたる　こないだの、どうなったんですか？

ゆかり　解決、したよ。警察にも来てもらって。

ほたる　——警察って。

ゆかり　すぐ反省してるから、本人も。戸棚の中も全部捨てたし、落ち着くまで外出禁止にしてるし、また買っちゃわない様に。も、めっちゃ謝ってるから。

ほたる　なんて言ってるんですか？　本人は。

ゆかり　だから——、ホンマにすまん。もう絶対お酒飲まへんから信じてーや。☆堪忍してくれ（京都弁）

ほたる　☆堪忍してくれ。

#### 一拍

佳　——京都なんだ。

ゆかり　——言うてはるよ。

ほたる　何回目ですか。私・何っ回もその話聞いてますよ。何回もゆかりさんから相談受けて、（ゆかりさんは）山本と話し合って、（山本は）酒やめて、でもすぐ元通り。もともとお酒やめる気なんてないんですよ、あいつは。すぐ戻りますよ。

ゆかり　今度はちゃんと話し合ったから、ほんとに。山本もすぐ反省してるみたいだし。

ほたる　前もそう言っていましたよね。

ゆかり　言ったけど。今回は絶対大丈夫だから。

ほたる　何で言い切れるんですか？

ゆかり　それは——（的確な答えが見つからず）、目が違ったから。

#### 間

ほたる　もう。

ゆかり　ほたるに紹介してもらった縁だから、ほたるにはちゃんと認めてほしいの。

ほたる　そりゃ、認めたいですけど。

ゆかり　頑張ってるんだよ。失敗しても、何度でも。

ほたる　ゆかりさん、だんだん教室にも顔出さなくなった。

ゆかり　それは。

ほたる　ゆかりさんは幸せになれるんですか。

ゆかり　なるよ。

ほたる　これは山本が乗り超えることであって、ゆかりさんが背負うことじゃない。宿題終わってない人の勉強をゆかりさんがすることは違う。

ゆかり　ほたるが山本と関係を終わりにしたこと、何も悪いと思わないよ。ほたるまだ若いし、自分の人生自分で決めていかないといけない。正しい選択だと思う。でも、山本は？　このままずーっと一人で、ゲロゲロになって死んでいけばいいってこと？

ほたる　そうじゃないですけど。そんなこと思ってないですけど、ゆかりさんが背負うのは違うじゃないですか。

ゆかり　確かに山本は弱い奴だよ。なにかあるとすぐ酒に逃げる。お酒飲まないと永遠にめそしてる。でも苦しんで苦しんで作品生み出してるの。助けになりたい、というか、支え合いたいと思うのはそんなに悪いこと？

ほたる　支え合えてます？　支えてるだけになってませんか？

朝霞　ちょっと、ちょっと。――あの、そっか、そんな事情があったのね。

ゆかり　すみません。人には言いずらくて。

北園　私も知らなかった。

ゆかり　この件はほたるだけ知ってて。

朝霞　いや、まあ、わかるよ。あんまりね、ベラベラ喋っていいことでもないからね。山本さん？

ん？

北園　印象良くないしね、教室開くにも。

ゆかり　だからあの――、

朝霞　あ、もう、全然、ここで留めておくから私たちも。安心して？

間

朝霞　だから、なに？　ゆかりちゃんも大変だと思うけど、これから二人で支え合ってね。

北園　軌道に乗ったら、むしろ養ってもらって。

朝霞　うんうんうんうん。

北園　ゆかりちゃんも、総目から？　許しを得てさ、他流派との結婚。

朝霞　良いことなんじゃない？　色々あるけど、山本さんもきっと嬉しいよ。ね、ほたるちゃんも、分かるけど気持ちには。

ほたる　ほんとにそう思います？　警察沙汰になってるんですよ、暴れて。

朝霞　――警察沙汰ねえ。

ゆかり　もう懲りてるから山本も。

ほたる　ホンマにすまん、ごめんて、京都弁で決意表明すれば信用してもらええると思ってるあたり、昔と変わってない。

樹里　ねえ、ほたるが口出していることじゃないでしょ。もう関係ないじゃん。ほたるが二人

の宿題に手を出してるよそれは。

ほたる 相談しておいて、それは、ないんじゃないですか。

ゆかり ——ごめんね。

ほたる 私が別れろって言ったからですか？ 相談してこなくなったの。

ゆかり そう言う訳じゃないけど。

ほたる 真剣にゆかりさんにとって何がいいか考えてました・いつも。無理なこと言ってると思うけど、まだ籍入れてないなら考え直してもらいたい。

ゆかり それはできないよ。

樹里 ほたるはほたる、ゆかりさんはゆかりさんなんだから。

朝霞 そうだよ、ほたるちゃんはほたるちゃんて今やる仕事とか。

北園 彼氏いるし。

樹里 そうだよ、彼氏、いるじゃん。なんでわざわざほたるがそこ突っ込んでいって。完全に悪者になってるよこの場で。

ほたる 悪者でいいよ。私のことそう思っていただいて構わないから。

間

朝霞 はいじゃあ、まあ、ね。一旦持ち帰ってこの話は。今日はここまで。書類も書いてもらったし。

佳 ——だ、え、待って。

朝霞 時間も、ほら。書類も書いてもらったし。

佳 そうですけど。

ゆかり 来てくれるよね？ 式。

間

朝霞 業務外だから、今この時間。

佳 私たちまだ業務内。

朝霞 外（がい）でしょ。もともと。

佳 朝霞さん。

朝霞 子供待たせてるのよ。

佳 旦那さんいるんですよね？ もうちょっと。

樹里 このまま帰っちゃうと非常にまずい気がするんですけど

朝霞 じゃあ、もう、こっちも後でちゃんと話して、うん、話付けて、週末式で会お？

樹里 いやいやいや、この感じ？ ほたる絶対式来ないじゃないですか。

朝霞 そしたらもうそれは、仕方ないんじゃない？

樹里 ええ？

朝霞 ほたるちゃん行きたくないって言うんだから。それはもう、私たちじゃどうにもできないよ。

佳 え、え、え、どう、するんですか、あの、あれ。

ゆかり ——あれ？

佳 あ・いや。

朝霞 私帰らないとだから。誰よりも。

樹里 いやほんと、朝霞さんのおうちの方には申し訳ないですけど、もう少しだけ。

佳 私からも謝りの電話入れますからご自宅に。

朝霞 それはやめて。

佳 ちよっと旦那さんをお願いして。

朝霞 旦那いないから。

北園 朝霞さん。

佳 あ、お出かけですか？

朝霞 いや、出掛けてるとかではなくて。

北園 今日はちよっと、いないのよね。旦那さん。

朝霞 離婚したから。

佳 ——え？

北園 ああ（落胆）。

#### 一拍

ゆかり え？

樹里 り、こん？

朝霞 旦那、いないから、うちに。

樹里 いつから？

朝霞 先週。

樹里 先週。

朝霞 味噌汁の味噌溶くときに火を止めてないのバレて。

佳 ——どういう？

朝霞 こだわりポイントなの旦那の。十二年間毎日作ってたけど限界来て。ま、それだけじゃないけどね、理由は。多岐にわたって。そうそう。——正直私は味噌汁インスタントでいいの。話が弾まない懷石料理よりも二人で映画見ながら食べるペヤングの方がおいしい。むしろインスタントの濃い感じ好きだし、干からびたねぎのザクザクとか好きだし。だから。

#### 間

北園　　なんで言うのよ。私今日ずっと黙ってたのに。

朝霞　　だって。

北園　　結婚式終わるまでは、誰にもバレたくないって。

朝霞　　大殺界で通すのは無理があると思って。

北園　　すごい喋りたいの抑えて。私頑張ってたのに。

朝霞　　ごめん。

樹里　　水星人マイナスっていうのは

朝霞　　それはほんと。大殺界。

樹里　　ああ。

朝霞　　だから私、帰らないといけないし、式では踊れないの。

一拍

ゆかり　　踊る。

朝霞　　――あ。

ゆかり　　聞いてない。何も聞いてないです。

朝霞　　違う違う。あのー、えーと、

ゆかり　　大丈夫ですよ。そんな。

朝霞　　ほんとに、違うのよ。

佳　　なんで言うんですかあ。

朝霞　　ごめん。

佳　　私の計画。

朝霞　　だ、ほんと、あの、

佳　　情報漏洩。

朝霞　　私、情報漏洩？

佳　　完全なる情報漏洩。業務執行妨害。

朝霞　　私が？　いや、ほんとにごめんね。ごめんごめんごめんーん。

一拍

佳　　――やめ、まじょうか、踊るの。

朝霞　　佳ちゃん？

樹里　　なんで？

佳　　だって、この感じで、私たち呑気に踊って、馬鹿みたいじゃないですか。

樹里　　かんけ・かんけ・関係ないよ。それとこれとは。

佳 関係ない。わかる。関係ない。私たちとゆかりんさんの事情は関係ないかもしれない。でもダンスは、二人が見るんだから関係なくない。

ゆかり 嬉、しいけどなー。

佳 だって、ダンスあれだし。

樹里 あれって？

佳 樹里さん、ダサいって思ってたでしょ。

樹里 思、ってない。

佳 私たち、浮かれすぎでは？

朝霞 そんなことないよ。まだ見てないけど、私は良いと思う。

北園 うん。すごく楽しみ。

樹里 ねえ、佳ちゃんあのさあ、

佳 実際コスパ悪いし、ゆかりんさん。

樹里 コスパあ？

佳 だからほたるさんの気持ちも分かる。え、考えらんねえ。

樹里 考えるもなにも。

ほたる 前段階。もうすぐ佳ちゃん、私側になる。

樹里 側ってなに。

佳 パンク寸前っす。ほたるさん、結婚式出たくない、ゆかりんさん出てほしい、水星人マイ

ナス、華道、流派、離婚、味噌汁、水星人マイナス、パンク寸前っす。

朝霞 ごめーん。

樹里 悩むことじゃないよ佳ちゃん。別々に生きてきた二人がさ、手を取り合って一緒に人生

歩んでいくって、すごいことだよ？ 祝われるべきことでしょ？

佳 ——樹里さんが言っても、説得力ないんだあ。

樹里 ——なに？

佳 ずっと引つかかってたんだあ。セフレいっぱいいるのに。

間

樹里 セフレって言い方やめてくれない？

朝霞 うん、セフレの話はやめようか今は。

樹里 セフレではないので。

朝霞 セフレかセフレじゃないかの線引きは人それぞれだからね。

樹里 デーティングだから。デーティング期間。

佳 わかんないですよ、違いが。

樹里 全然違う。セフレは遊びだけど、デーティングはこの人と本当に相性がいいかどうか考えるための関係だから。真剣なの。一緒にしないで。



佳 何をそんなに見極める必要があるんですか？  
樹里 身体の相性。

佳 そんなに大事ですか？

樹里 一番大事でしょ。年収より大事。

朝霞 年収は大事でしょ（断言）。

樹里、佳、朝霞を見る。

朝霞 ごめん、なんでもない。

樹里 ——考えてごらんよ。この人だって決めてこの先何十年も続く二人の生活。身体の相性悪かったらどう？ 地獄でしょ？

朝霞 セフレの話はやめよ？ ね？

佳 自分はそういうこと考えてるのに、人の事は綺麗事言って手放しに喜べちゃうのは、違うっていうか、私と一緒にしてほしくないっていうか。

樹里 私と一緒にって何？ 最初から一緒になんてしてないよ。佳ちゃんとは。

佳 だから、無理してやらなくても良かったんですよ。私も、樹里さんも、ほたるさんも、みんな一緒になって思っちゃったから、こうなってる訳だし。

北園 （ゆかりを気にしながら）やった方がいいよ、こういうのは。後々やっというて良かったなって思うものだよ？

佳 だって、みんなバラバラだし。文化・文化祭じゃないんですから。こんな状態でやってもゆかりさん嬉しいはずないですよ。

ゆかり、何も言えない。

朝霞 でも、ね、まあ無理にやっても確かに。

佳 私も私なりの方法でお祝いします。朝霞さんが仰ったように、それぞれの方法で祝福の気持ち伝えた方が誠実だと思いました。——すみません、お子さん待たせてるのに。

朝霞 ああ、うん、いいの・いいの。

佳 私も銀行行かなきゃなので。

朝霞 銀行？

佳 ——十万降ろさなきゃ（ボソツ）。

北園 無理してない？

朝霞 ゆかりちゃん、あの、ほんとに、お祝いする気持ちに変わりはないからね。

佳 はいそれはほんとに。ゆかりさんの事応援してます、ほんとに。

ゆかり それは、うん、ありがとう。

朝霞 ——とりあえず一回出ようか。

佳、朝霞、帰る準備をし始める。

北園 え、やだ。やだやだやだ。この感じで帰るの？ みんな。

朝霞 ぞのちゃん。

北園 このまま帰ったら。私もうお煎餅持って来られないよ。

朝霞 なんて。

北園 だって次会ったときはさ、もう、今までの感じじゃなくなっちゃうでしょ・絶対。みんなと一緒に煎餅、食べられないでしょ？

朝霞 美味しくいただくよ。さっきも食べたじゃん。

北園 ★山形から！ 取り寄せてんの。電話して。ここでみんなで食べたいから、私の煎餅。嫌な空気で食べてほしくない。煎餅だってそれを望んでない。

朝霞 煎餅。

北園 美味しく食べてもらいたいと思って丹精込めて焼いてくれる職人さんの気持ち。天日干しにされて、私たちの元に来てくれるうるち米の気持ち。

朝霞 いちいち煎餅の気持ちになれないよ。

北園 私今後どこで煎餅食べればいいの。

朝霞 家とか。

北園 なんて。

朝霞 なんてって聞かれても。

北園 仕事は、家でもできる。煎餅、家だと寂しい。

間

北園 こんな話するためにここにいるんじゃないでしょ、みんな。ゆかりちゃんいるんだよ。

間

佳 ごめんなさい。

北園 聞かせていい話じゃないでしょ。

朝霞 —— そうだね。ごめん。

ゆかり いや、私もこんなことになるとは。

間

樹里 (ほたるに) 元凶。——お前だよ、元凶！

一拍

樹里　したいんでしょ？　お祝い。ほたる最近変。確かにほたるが言ってることは正しいかもしれないけど、自分のこだわりで自分のこと追い詰めてる気がする。私も自分の意見押し付けてると思う。ごめん。でも今仕事続けられてるの、ゆかりんさんのおかげじゃん。ゆかりんさんいなかったら、ほたる会社辞めてたでしょ。

間

ゆかり　行っていないでしょ？　最近、教室。——ぞのちゃんに聞いたよ。ほたるが私の事心配してくれる気持ちは嬉しいけど、それでほたるが良くない方に行くのは・私見たくないよ。樹里　素直に祝ってあげなよ。何でできないの？　なににそんなにこだわってるの？

ほたる　お祝いしたいよ、私も。——なんでそんな簡単に言えちゃうの、おめでどうって。みんなズルい。勝手に悩んで勝手にしゃべって、人のこと認めた気になって、納得して、また悩んで自分の事で。いいな、スツキリして。私もみんなみたいに笑ってさ、下ネタ言って、めでたくもない人の事、おめでどうって、言えたはずなのに、今まで楽しかった話、だんだん聞くのが嫌になって。三角食べも、前は意味をなさない話だったのに、今は意味をなしちゃって。分かってる。割り切ればいいことも、自分が大人になればいいことも。——お腹に、お腹がなんか重くなるの感じながら、痛いのが、上の方。くそう、なんだよ聞きたくねえよそれ今、私やることあるのに、私、今、ゆかりさんが任せてくれたミートハウスあるのに、ずっとこんなこと考えてて。お腹痛くて、何も食べられなくて、なのにお腹重くて。——何も言えなかったから？　いつまでもゆかりさんに追いつけないから？　分かんなくなっちゃって。花も何がいいのか分かんなくなっちゃって。教室行けなくなっちゃって。ゆかりさん居ない教室。そのうち会社も来なくなっちゃうんじゃないかって。ミートハウス、もう私無理だ。

一拍

ほたる　私やっぱりチームリーダーできない。降ります。

樹里　何言ってるの？

ほたる　会社辞めます。

佳　ほたるさん？

樹里　何言ってるの？

朝霞　そんな、いきなり。

北園　そうだよ、辞めるとなると、書類、退職届とか、保険証の失効届とか、樹里　どんな思いで、ゆかりさんがほたるに任せてくれてると思ってるの？

ほたる　だってできないもん。辞めるべきだった。国母事件で辞めるべきだった。

ゆかり　ほたる。

ほたる　ゆかりさんが何とかしてくれたけど、私、

ゆかり　もう済んだことなんだから。

ほたる　ハゲって言っちゃったんですよ。

間

朝霞　は？　げ？

北園　誰に？

ほたる　クライアントに。

朝霞　ハゲ？　いついついついつの話。

樹里　5年くらい前ですね。

朝霞　ええ。

ほたる　私のせいなのに、あのオヤジゆかりさんに難癖付け始めて、耐えられなくて、うるせ

ーハゲ。

ゆかり　言わなくていい、今はそれ。

朝霞　ハゲはヤバい。

ほたる　ゆかりさん謝り倒して、菓子折り渡せず、追い出されて。他の人には黙っててくれて

――、あの時辞めるべきだった。私が素直に謝ってれば契約破棄にはならなかった。会社にも

迷惑がからなかった。

ゆかり　私が許したから、あれは。私が責任もって。初めて育てた社員だから、ほたるは。

ほたる　ゆかりさん、――土下座までして。

ゆかり　★いいから。

佳　ど！

北園　ええー！

ほたる　覚えてますか？　あの後、さすがに私、ゆかりさんに謝らなきゃって思って、会社出

て立ち止まって、そしたらゆかりさんも立ち止まって、

ゆかり　うん。

ほたる　ゆかりさん笑ってて、いきなり頭わしやわしやーって。ぶん殴られるのかと思ったか

ら私びっくりしちゃって。それで私――、私は、

ゆかり　不器用なのがほたるの良いところなんでしょ？

ほたる　全っ然良くないですよ。なにそれ滅んだ方がいい。辞めて当然なんです、私なんて。

ゆかり　良いところだよ。

ほたる　ゆかりさんは、いつも私の見えないものが見えてる。こんな奴の事、かばって、山本

の事、相談までしてくれて。――嬉しかったです。手玉ですよ、私は。ゆかりさんの手の上の

玉。

ゆかり　私もスッキリしたからあの時。良くないけど。ハゲはほんと、良くなかったけど。

朝霞　うーん。

一拍

ほたる　辞表がいつでもカバンの中にある。——あれ以来、辞表と鋏がいつもカバンの中にあるって、お守りみたいに。でも、もうどっちもいらなくなる。

間

ゆかり　勝手に、カッコいい先輩みたいにしないでよ。

一拍

ゆかり　ほたるは私のこと、カッコいい先輩として見てくれるけど、私そんなじゃないから。理想を押し付けるのやめてよ。完璧じゃない。全然そんな、人生懸けて尊敬されるような先輩じゃない。——どうしたらいいか分かんなかったの・ほんとは。ほたる泣いて。結局菓子折り一人で食べちゃったし・あの後、どら焼き。

北園　——経費。

ゆかり　会社は辞めるべきじゃない。頑張ってきたでしょ。私を理由に辞めてほしくない。

ほたる　ゆかりさんのせいじゃない。自分の不機嫌を人のせいにしちゃう私の問題。みんなに迷惑かける。

ゆかり　迷惑かけていいんだよ。かけなよ。佳ちゃんみたいに。

佳　——めいわく。

ゆかり　嬉しかったよ。私・あの時。大変だったけど、生まれて初めて土下座したの、人のために。

ほたる　申し訳ない。

ゆかり　私だって、朝霞さんに迷惑かけながらやってきた。

朝霞　——ゆかりちゃん、入ったばかりの頃、やめたいやめたいって駄々こねて大変だったんだから。

佳　うそ。

朝霞　朝まで居酒屋付き合ってたもん・私。子供いるのに引き止められてさ。

ゆかり　ご迷惑おかけしました。

樹里　こないだオフィスでお酒飲んでましたしね。

朝霞　ここで？

ゆかり　だって、家じゃ飲めないから。

佳　（ハッ）たまにさきいかの匂いします。このへん。  
ゆかり　言わないでよ。

北園　仕事サボって、一緒にカラオケ行くよね。

朝霞　ゆかりちゃん？

ゆかり　休憩中に。ほんとに。

北園　カラオケ代経費で落とすもんね。

朝霞　ゆかりちゃん？

ゆかり　これは嘘！

北園　――税理士ジョーク。

間

北園、煎餅を差し出し、

北園　お煎餅食べる？

ほたる　――お煎餅、いらない。

北園、煎餅をしまう。

ほたる　ごめんなさい。終わりにしなきゃ、こんな個人的な話。

ゆかり　ほたるはどうしたいの？

ほたる　みんなにとってはどうでもいい話だから。

ゆかり　ほたるはどうしたいのかって聞いているの。

間

ほたる　私か山本か。

間

ほたる　私か山本か、どっちか。結婚辞めるか私が会社辞めるか、どっちか。

間

ほたる　どっちか。

間

ゆかり　山本。

間

ほたる　そうですね。

ゆかり　今病院通ってるの。山本はほたるが知ってる山本に変わりないけど、もうほたるが知らない山本だから。お酒もここ最近はずっと飲んでない。飲んでも私達、諦めないで治療続ける。ほたるが話聞いてくれたからここまで来れたんだよ。酒が抜けた山本の花、見てほしいよ、ほたるに。すごいから。来てよ、式。見に来てよ。

間

ほたる　ゆかりさんが山本の事すごく考えてることも、山本が頑張ってることも知ってます。ほんとに、——良いことなんだと。やっぱ二人が結婚するのは良いことなんだと、思えたらいいんですけど。

間

ほたる　すみませんでした。

朝霞　——会社の事は、もうちょっと考えてみて。

ほたる　はい。あの、でも——、すみません。

ほたる、オフィスから出ていこうとする。

樹里、ほたるの前に立ち塞がる。手にはスピーカー。

♪一世風靡セピア「前略、道の上より」

ゆかり　え？

佳　なに・なに・なにしてるんですか。

樹里、踊り始める。

樹里　ほたる、踊れー！

♪そいや

ゆかり　いやいやいや、音楽止めて？　一旦消して？　——佳ちゃん！  
佳　はい！

佳、音楽を止めるためスピーカーに手を伸ばすが、

樹里　私はめめだいたいと思ってます。私がちゃんとした恋愛してないから、お祝いしちゃダメ？  
ゆかりんさんが幸せになれなそうだと喜んじゃダメ？　じゃあ私達何のためにお祝いするの？　この先苦労があっても一緒になろうって決めた二人をお祝いするんじゃないの？　それぞれがなんか、自分の事と人の事、距離取りながらやらなきゃいけないこと？　私は頭からお尻まで私情は挟まず、ゆかりんさんをお祝いしたい！

♪はっ！

# 《一番》

佳、ダンスに加わる。

ゆかり　佳ちゃん？

佳　ごめんなさーい！

朝霞　この曲超懐かしくない？

北園　朝霞さん、歳バレるよ。

ゆかり　ストップ、ストップ！

佳　ゆかりんさんは、黙ってお祝いされてくださーい！

朝霞　かっこいいー！　懐かしいー！

佳　ほたるさーん！　踊りましょー！

樹里　入ってー！

ゆかり　私今これ見ていいのー？

朝霞、ダンスに加わる。

佳　朝霞さん？

朝霞　私、哀川翔やるから。

佳　はい？

朝霞　哀川翔担当。

佳　哀川翔分かんないです。

朝霞　は？　まじで言ってる？



♪はっ

三人、ほたるを囲み踊るよう促す。  
逃げるほたる、追う三人。

♪そいやそいやそいやそいや

《二番》

スズランテープの波の中、樹里と佳がオリジナルダンスを披露する。アーティストック  
スイミングのような。その波に飲まれたりするほたる。戸惑うゆかり。

♪そいやそいやそれそれ

♪はっ

上手くいってハイタッチなどする樹里と佳。  
波を片付ける。

朝霞　ぞのちゃん踊ろう。

北園　私は見るの楽しいから。個人プレイだから。

佳　個人プレイカモン。

北園、パラパラを踊り出す。

♪ギューーン

樹里　なんですかそれ。

北園　私、やってたから、パラパラ。

樹里　そうだったの？

北園　通ってたから、ベルファアレ！

♪はっ

《三番》

ほたる　嫌なんです、なんかどんどんゆかりさんが普通の女になっていくの。  
ゆかり　普通のって。

ほたる 普通の、恋する女になっていく。

ゆかり ダメなの？

ほたる ダメじゃない。全然ダメじゃない。応援したい。

ゆかり 応援してよ。

ほたる 私も式場に花生きたい。他の生徒さんみたいに。私も踊ってお祝いしたい、樹里と佳ちゃんと一緒に。

ゆかり 踊ってよ。

ほたる 踊りたい。

ゆかり 生けてよ、花。

### 《間奏》

ほたる ゆかりさんにはずっと勝ってほしい。私はずっと負けで構わない。いつまでもゆかりさんにやれやれって思われながら、いつか勝つんだって思いながら、ずっと負けていたい。

ゆかりさんは私よりいつでも幸せでいてほしい。

ゆかり ——ふざけんな！ 私だって、寿退社したかった！ でも決めたの。帰ったら山本がいるのがいいの。疲れて帰って、山本も疲れてて、ダメだなあたしらって落ち込んで、花があつて。二人ならいいの。どうなるか分かんないから。お酒やめられるかもしれない。商売繁盛するかもしれない。子供出来るかもしれない、そしたら変わることもあってあるかもしれない。てゆうか、お酒がなかったら私達ここまで続いてなかったかもしれない。カッコ悪ければ笑えばいい。普通の女上等だよ！ それでも私はテツくんと、これからもずっとずっと一緒にいたい。何があっても一緒にいたい。

樹里 ほたる！ いいんだよ！ 踊って！

♪はっ

### 《四番》

ほたる、ダンスに加わる。

曲終わり。

ポーズ。

ゆかり以外 そいや！

ほたる　ゆかりさん、幸せになってください。  
樹里・佳　なってください！

ゆかり、笑ってしまう。

ゆかり　うん。はは。

ゆかり、ほたるの頭をわしゃわしゃする。

ゆかり　ありがとう。

間

佳、大きなため息をつく。

佳　納得いかないですね。

樹里　え？

佳　今勢いで踊っちゃいましたけど、これ式でやるの。

樹里　よかったんじゃない？　結構。

佳　じゃなくて、もう見られちゃったわけですから、ゆかりんさんに。

樹里　それは、ごめん。

佳　一から練り直しましょう。

樹里　——一から？

佳　曲変えます。

樹里　今から？！

佳　許せません。このままやるのは、私のプロ意識が。

樹里　何のプロなの？　佳ちゃんは。

佳　カラ館、カラ館行きましょう。

佳、出ていく。

樹里　——嘘でしょ。

朝霞　（時計を見て）わ、もう行かなきゃ。

朝霞、テーブルなど戻し始める

樹里 そっか、ごめんなさい。

樹里、朝霞を手伝う。

朝霞 —— 私も入っていい？

樹里 え。

朝霞 (ゆかりに) いい？ バツイチ入って。

ゆかり どうぞどうぞ。て、私に聞かれても。

樹里 やりましょう？

朝霞 (照) はい、帰るよ。

朝霞、樹里出ていく。

樹里 曲変わるかもしれないですけど。

朝霞 そうだったー。

北園、荷物をまとめ、

北園 あーあ、全然終わんなかった、書類整理。

と言いつつ退場。

間

ほたる ああ。

ゆかり、ほたるが生けた花に近づき、先ほど持ってきた植物で手を加える。

ゆかり さっき山本に呼ばれたっていうの嘘。弱音吐いてたから喝入れてきただけ。(花を生け終わり) ああ、すっきりした。ずっと気持ち悪くて、ここ。

ほたる そこ上手くないかなくて。

ゆかり 比率が大事なんですよ？ 1:1.618の比率。

ほたる はい。白銀比。

ゆかり ほんとに理解できてる？ 白銀比。黄金比が動的なら、白銀比は静的。静かな方のね。敢えて静的な白銀比を用いて生けることで、内に秘めた花の生命力が輝くの。ひけらかしちゃ

だめ。引き算・引き算。花が一番綺麗に見える比率を図形を使って理論づけたのが明生流なの。わかってる？

ほたる はい、あの、ゆかりさん、

ゆかり ★分かるけどね、完璧にしくなっちゃう気持ち。だけど不完全なものの面白さをもっと感じてほしいわけ。変化を受け入れる余地って言うの？ あと、枝一本にしたって、こっちを面にするのか、こっちにするのかで全然違うんだから。（やって見せ）ほら。面が命。面で奥行きを見せる感じ？ フラワーアレンジメントと違うのはここなんだけど。

ほたる ★ゆかりさん。

間

ゆかり 式、待ってるから。

ゆかり、出ていく。

間

♪ほたるの携帯電話が鳴る。

ほたる、電話に出る。

ほたる もしもし？ ——大丈夫。うん、あの、ごめん私こそ。——いいよ、二十五、二十六で。うん。——え？ 別に何もないよ？ いや、だって同じ二日間だしね。——うん、うん。

朝霞 （袖から）早くー！

ほたる はーい。ごめん、またね。

ほたる、オフィスを出ていく。

☆部屋の電気が消える。

☆外の明かりが先ほどの生け花にかかる。

☆暗転

幕。

## 《参考文献》

- 恋愛しない若者たち コンビニ化する性とコスパ化する結婚 牛窪恵 ディスカヴァー携書  
はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで 石田仁 ナツメ社  
マンガでわかるLGBTQ+ パレトトーク／ケイカ 講談社  
カミングアウト 砂川秀樹 朝日新書  
発達障害グレーゾーン 姫野桂 扶桑社新書  
ひとを〈嫌う〉ということ 中島義道 角川文庫  
あとは死ぬだけ 中村うさぎ 太田出版  
いけばな 知性で愛でる日本の知 笹岡隆甫 新潮新書